

第三次稲城市観光基本計画

～稲城ツーリズムビジョン2030～

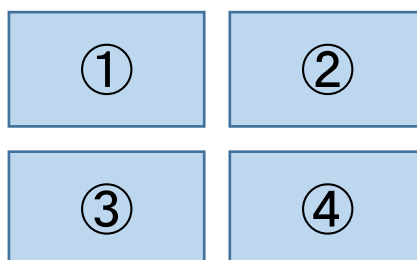
(令和8年度～令和12年度)



令和8年3月

稲城市

表紙の写真について



表紙の写真は、稲城市が国内外へ発信できる観光資源をイメージしています。

- ① 城山公園のパブリックアート
- ② 稲城クロス
- ③ ジャイアンツタウンスタジアム
- ④ 装甲騎兵ボトムズ スコープドッグのモニュメント

はじめに

本市では、稲城らしい観光まちづくりを推進することによって、まちの賑わいや交流人口の拡大を図ることを目指し、平成28年3月に令和2年度を目標年次とする稲城市観光基本計画、続いて令和3年3月には令和7年度を目標年次とする第二次計画を策定しました。



両計画期間中の成果として、本市の観光事業を推進するプラットフォームとなる稲城市観光協会の発足から始まり、いなぎ発信基地ペアテラスの運営、メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトの進展、自転車のまち稲城の確立、読売グループとの包括連携に基づく新たな観光事業の創出など様々な取り組みを通じて、本市の観光施策は大いに進展したものと認識しております。

このたび、本市では令和8年から令和12年度までの5年間を計画期間とする第三次稲城市観光基本計画を策定しました。本計画では、これまでの取り組みを継続し、さらに発展させるとともに、従来の観光の枠にとらわれず、観光産業と他分野・異業種の連携を模索し、新しい技術や価値観を取り入れ、地域経済の循環や新たな雇用創出を目指してまいります。

多くの市民の皆様にご参画いただき、ともに稲城らしさの確立に向けて、「住んで良し」・「訪れて良し」、そして定住型で世代交代のできるまちを目指し、「シビックプライド」が醸成されるよう取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にご尽力いただきました第三次稲城市観光基本計画策定委員の皆様をはじめ、ご協力いただいた皆様、関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、今後とも、本計画の達成にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年3月

稲城市長 高橋 勝浩

目 次

はじめに

目次

第1章 第三次稲城市観光基本計画の策定について	1
1 計画策定の背景と目的	2
2 計画の位置付け	2
3 計画期間	3
第2章 稲城市の観光を取り巻く状況	5
1 国の観光動向	6
2 東京都、多摩地域（都市部）の観光動向	6
3 稲城市の観光動向	7
（1）稲城市の観光資源	7
（2）第二次計画の策定・推進	9
第3章 稲城市の観光の現状と今後の展望	13
1 稲城市の観光の現状	14
（1）市民意識調査（観光に関する項目）	14
（2）「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査	14
2 今後の展望	15
第4章 基本理念と基本方針	17
1 基本理念	18
2 基本方針	18
3 個別の施策	20
4 数値目標	26
5 計画概念図	27
第5章 推進体制	29

資料編	33
資料1 稲城市の観光資源一覧表	34
資料2 第二次計画の事業実績	36
資料3 令和6年市民意識調査（観光に関する項目）	38
資料4 「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査	45
資料5 意見公募（パブリックコメント）	74
資料6 用語解説	75
第三次稲城市観基本計画策定経過	78
第三次稲城市観基本計画策定委員会委員名簿	79

第 1 章

第三次稲城市観光基本 計画の策定について

1 計画策定の背景と目的

令和3年3月に策定した「第二次稲城市観光基本計画」（以下、「第二次計画」という）の計画期間が令和7年度で満了するため、これを引き継ぎ、ここに令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする「第三次稲城市観光基本計画」（以下、「本計画」という）を策定しました。

本計画では、第二次計画の計画期間中の施策を振り返るとともに、その成果と残された課題を洗い出した上で、稲城市を取り巻く観光動向や関連する計画、事前に実施した調査等を踏まえながら、これらを今後活かしていくための施策について検討しています。

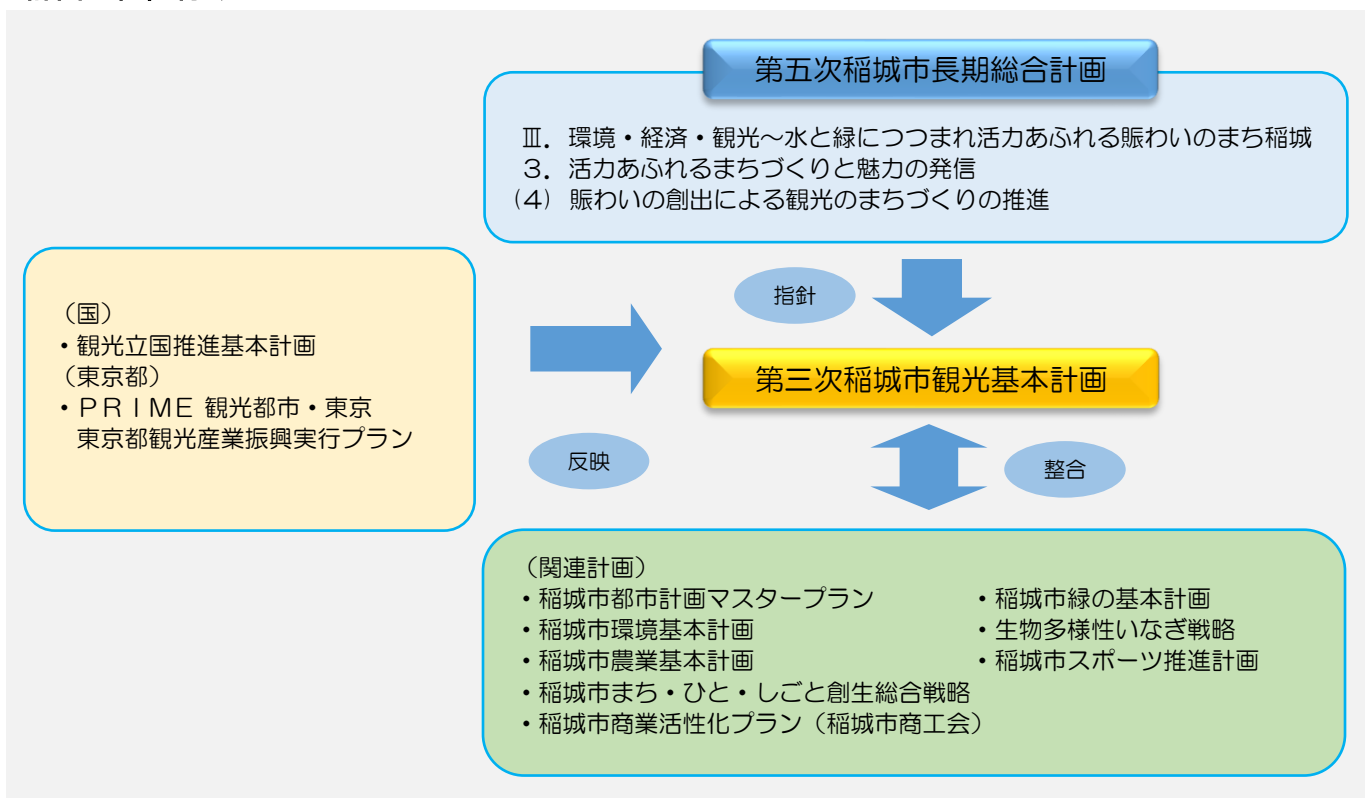
「住んで良し」、「訪れて良し」の観光まちづくりを推進した第二次計画を継承し、さらに観光振興が地域社会・経済に好循環を生む仕組みづくりを推進することで、持続可能な観光地域づくりを目指します。

2 計画の位置付け

第二次計画では、本市の最上位計画である「第五次稲城市長期総合計画」（以下、「総合計画」という）に基づき、賑わいの創出による観光のまちづくりを推進してきました。

令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする総合計画では、稲城市の恵まれた里山や多摩川・三沢川等の自然環境を活かし、既存の歴史遺産、文化財、文化・芸術活動等の観光資源の魅力に磨きをかけるとともに、新たな発掘を行うこととしています。さらに、農業、商業、スポーツ及び市民活動等の関連分野における諸活動を観光事業につなげることにより、観光の活性化、持続化を図って

計画の位置付け



くことや、よみうりランドの拡充、TOKYO GIANTS TOWNの新設に合わせ、市内への誘客を図るために、関係各所との連携を図っていくこと、稲城市観光協会を中心に、シビックプライド（※1）を持つ市民や関連活動団体をはじめ、企業、大学等の教育機関等と連携して、イベント等への集客力を高めていくことや、周辺地域との観光連携により交流人口（※2）を増やすとともに回遊性を高めることで、地域経済の振興やまちの賑わいを創出し、市内外にまちの魅力を発信することを通じて、観光のまちづくりを推進することを掲げています。

これらを実現するために、総合計画では（1）既存の観光資源の活用と新たな発掘、イベントの創出を通じた観光の魅力の向上、（2）関連分野の諸活動との連携による賑わいの創出、（3）稲城市観光協会との連携による観光施策の効果的な展開、（4）市内外への効果的な情報発信による魅力の認知度向上、の4つの施策を示しており、本計画でも引き続き、その基本構想に基づいて施策を推進していきます。

なお、本計画の策定にあたっては、国や東京都の動向を踏まえるとともに、関連する計画との整合を図ります。

3 計画期間

本計画の計画期間は、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間とし、上位計画である総合計画と歩調を合わせて推進していきます。

計画期間



第 2 章

稲城市の観光を取り巻く 状況

1 国の観光動向

第二次計画の計画期間である令和3年度から令和7年度までの5年間における全国の観光動向としては、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく変動しました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、国内外の観光需要が大幅に減少し、特にインバウンド需要(※3)はほぼ無くなり、国内旅行も制限される状況でした。令和4年度の後半から徐々に観光需要が回復し始めましたが、訪日外客数(※4)はコロナ禍前の水準にはまだ遠い状況でした。令和5年度に入り、訪日外客数が大幅に増加し、訪日外国人による消費額が初めて5兆円を超え、過去最高となりました。令和6年度には、訪日外客数が3,686万人と過去最高を記録し、訪日消費額(※5)も8.1兆円と過去最高を大幅に更新しました。また、国内旅行者数もコロナ禍前の9割程度に回復し、消費額は25.1兆円と過去最高を記録しました。令和7年度も引き続き、好調な状況が続いています。

しかし、訪日外客数の回復、国内旅行の回復、観光消費額(※6)の増加の中で、全国的に観光業全体の人手不足、オーバーツーリズム(※7)、都市部やゴールデンルート(※8)への観光客の集中、災害リスクや観光客の満足度向上などが課題に挙がっています。

こうした中、政府は、計画期間が令和5年度から7年度までの第四次観光立国推進基本計画を策定し、持続可能な形での観光立国(※9)の復活に向けて、観光施策を推進しています。基本的な方針として、「持続可能な観光地域づくり戦略」「インバウンド回復戦略」「国内交流拡大戦略」を掲げ、活気に満ちた地域社会の実現に向け、地域の社会・経済に好循環を生む「持続可能な観光地域づくり」が全国各地で進められ、観光の質の向上、観光産業の収益力・生産性の向上、交流人口・関係人口(※10)の拡大が、コロナ禍前より進んだ形で復活することを目指しています。

また、令和7年度に開催された大阪・関西万博を契機に、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに「持続可能な観光地域づくり」「インバウンド回復」「国内交流拡大」を戦略的に取り組み、全国へ観光の恩恵が行きわたるよう、観光施策を進めています。

2 東京都、多摩地域(都市部)の観光動向

コロナ禍により、令和3年に延期され、さらに無観客での開催となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会から、水際対策が終了し、新たなフェーズにおける施策が求められることや世界的な観光需要の回復、個人の志向・関心等により旅行のテーマや目的の多様化を踏まえ、東京都は、観光施策の再構築のため「PRIME観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン2024-2026」を策定しました。

本プランでは、「復活した観光需要の積極的な取り込み」「観光における持続可能性の確保」「観光産業の基盤の強靱化」を基本方針として掲げ、東京ならではの質の高い観光体験の提供と発信、観光客へのサポート機能の向上、日本各地との連携の促進、サステナブル・ツーリズム(※11)の一層の推進等、積極的に取り組んでいます。

一方、多摩地域の状況は、東京都市長会の広域連携事業に対する助成制度により、多くの自治体が観光事業の活性化・広域化に取り組んでいます。具体的には、「GOOD CYCLE JAPAN推進モデルルート活用事業」「ジャイアンツスタジアム周辺自治体連携事業」「タマリズムプロジェクト」等、自治体が連携することで、多摩地域の観光の魅力を高める事業が実施されています。しかし、この助成期間終了後は事業の自立化が求められており、事業の継続性について各自治体とも工夫が必要となります。

3 稲城市の観光動向

(1) 稲城市の観光資源【資料1】

本市は都心部にほど近いベッドタウンとして成長を続けており、市内の大部分において住宅地が形成されています。従来型の観光で巡る美術館や博物館、大型の商業施設や商店街、全国的に名が知られた公園や神社仏閣等の、マスツーリズム（※12）に向けた大規模な観光資源こそないものの、本市の観光の特徴は、自然や町並み、歴史・文化遺産等に触れるまち歩き、また地域の人々との交流等、都市の様々な魅力を楽しむ近郊都市型の観光であるといえます。

本市の代表的な観光資源としては、雄大な流れの多摩川、桜並木が美しい三沢川、総延長が約70kmに及ぶ大丸用水等の親水空間、昔ながらの風景が残された里山や自然林を活かした公園などの豊かな緑、江戸時代中期に栽培のルーツを持つと言われている梨や贈答用ぶどうのブランドとして定着している高尾ぶどう等の農産物、約2万年前の旧石器時代から現在に至るまでの長い歴史の中で育まれた有形・無形の文化遺産・歴史遺産などが挙げられます。

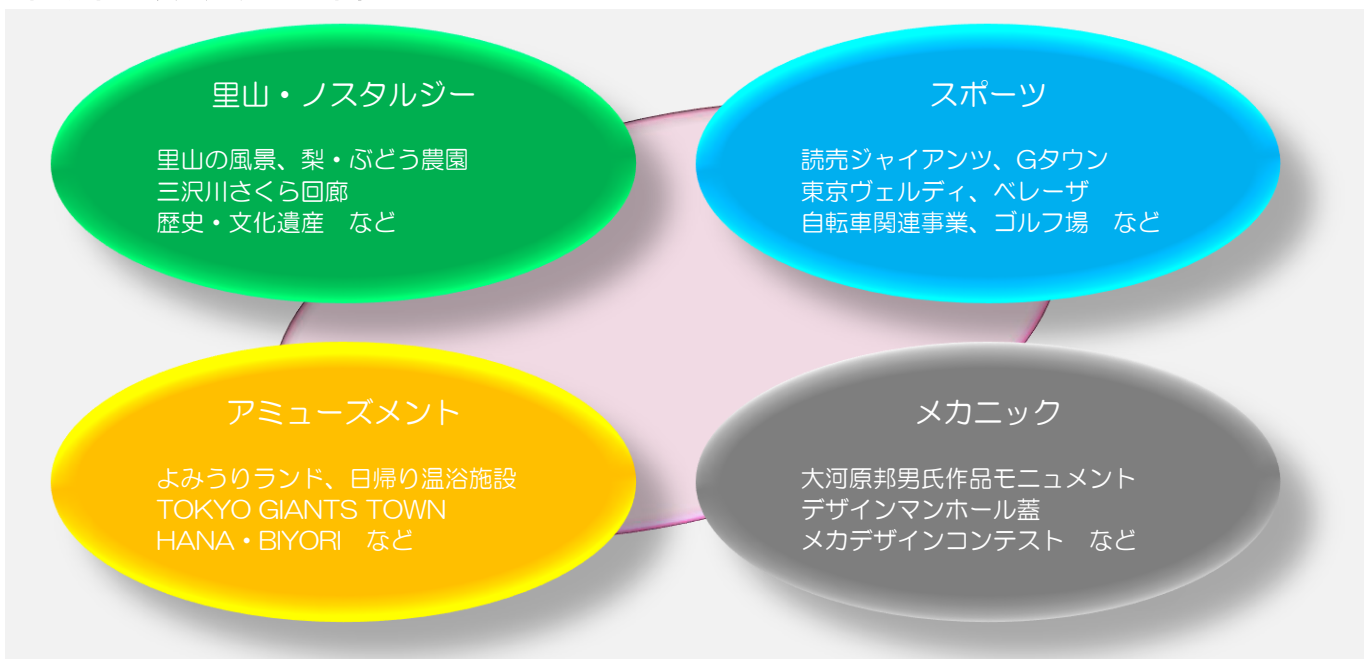
また、よみうりランドやHANA・BIYORIをはじめとする南山エリアの読売グループのアミューズメント施設、プロ野球チーム「読売ジャイアンツ」の本拠地である「ジャイアンツタウンスタジアム(Gタウン)」やプロサッカーチーム「東京ヴェルディ」と「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」のホームタウンであることなどは、他の地域には無い本市の強みです。

さらに、市内にはサイクリストが多く利用する南多摩尾根幹線道路や多摩川サイクリングコースが走り、令和3年に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技（ロード）のコースの一部にも設定されるなど、サイクリストにとって魅力的な立地となっています。

加えて、メカニックデザイナーとして高名な大河原邦男氏在住の地であり、同氏にまつわるモニュメントや事業等、当市にとって大変重要な存在です。

こうした本市の魅力「里山・ノスタルジー」「アミューズメント」「スポーツ」「メカニック」を基

稲城市の観光資源の4本柱



軸に、「稲城市の観光資源の四本柱」として観光事業を推進してきました。

そして、令和8年2月にはよみうりランド内に「ポケパーク カントー」が開業したこと、水族館や商業施設がTOKYO GIANTS TOWNに建設予定であること、テレビドラマ、映画、アニメ、ウルトラマンシリーズ等のコンテンツツーリズム（※13）の対象となる新たな観光資源が注目されるようになってい



▲「ポケパーク カントー」

(2) 第二次計画の策定・推進【資料2】

第二次計画においては、基本理念『多様な地域資源の活用と魅力化によって「稲城らしさ」の確立とまちの賑わいの創出を図り、「住んで良し」・「訪れて良し」の観光まちづくりを推進する』ことを目標に、計画を進めていきましたが、本計画期間では、新型コロナウイルス感染症により観光まちづくりに多大な影響を及ぼしました。しかし、平成30年に設立した稲城市観光協会とともに工夫を重ね、本市の観光施策が持続できるよう努めました。

その計画期間が令和8年3月で満了することに伴い、計画を推進するにあたって掲げた7つの基本方針について、これまでの実績（見込みを含む）を取りまとめました。

基本方針（1） 観光資源の活用・発掘

蓄積されたノウハウの活用施策として、コロナ禍での観光ウォーキングツアーの実施や三沢川さくら回廊のライトアップ、新旧の観光ルートを組み合わせた観光ウォーキングルートの増加、より見やすく使いやすい観光マップ等の制作等、本市の観光資源の魅力をより多くの人に伝える事業に取り組みました。また、メカニカルシティ稲城の推進施策として、メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトや関連商品の開発に取り組みました。さらに、オリンピックレガシーの創出・活用施策として、稲城サイクルカフェの設置や「オネカン戦士稲城ペダリオン」の制作、配電用地上機器へのラッピングや観光案内サインの制作、さらに、ロードレースのコースとなった都内8市によるGOOD CYCLE JAPAN推進モデルルートを活用した広域連携事業等、様々な事業を展開しました。



▲オネカン戦士稲城ペダリオン



▲配電用地上機器ラッピング



▲東京多摩2020レガシーロードロゴ

基本方針（2） 関連分野・組織との連携

大型観光施設との連携施策として、令和5年8月24日に本市と、(株)読売新聞東京本社、(株)読売巨



▲読売グループとの包括連携



▲ゴルフ日本シリーズブース出展



▲稲城体感ツアー

人軍、(株)よみうりランドで、「TOKYO GIANTS TOWN」構想の実現等による地域活性化（地域発展）の推進に関する包括連携協定を結び、4者が有する資源を活用して、地域の持続的な発展や地域の教育、文化、スポーツの振興等に連携・協力して取り組んでいます。

また、商業・農業・経済分野との連携施策として、農業体験事業や小田良ベースとの連携事業を行いました。

さらに、スポーツ分野との連携施策として、稲城市フェスタinジャイアンツ球場・ジャイアンツタウンスタジアム、稲城市ヴェルディ応援DAY、稲城クロス、スポーツバイクの安全な乗り方講習等の実施やゴルフ日本シリーズ、野沢温泉自転車祭等のスポーツイベントにてPRブース出展を行い、スポーツのまちとしてのプロモーション活動に取り組みました。今後、南山エリアに水族館や商業施設等の開業の際には、先進事例を参考にしながら更なる観光施策の展開が必要です。

基本方針（3） 近郊都市型観光の確立とシビックプライドの醸成

観光まちづくりへの市民の参画施策として、稲城市観光協会サポーターズ・クラブを設置しました。また、シビックプライドの啓発のため、専門講師を招き「稲城ツーリズムカレッジ」を行いました。



▲稲城ツーリズムカレッジ

基本方針（4） 観光人材・産業の育成

観光を担う人材の育成施策として、いなぎ観光案内人の主催するまちのガイドや「ガイド寄席」事業を実施し、スキルアップを図りました。また、観光大使のそれぞれの活動展開、(株)JR中央線コミュニティデザインや地域情報誌「マイタウン稲城」を発行する(株)エリアブレイン等の新たな観光関連事業者の活動が活発になりました。



▲ガイド寄席



▲南武線ビアマルシェ

基本方針（5） 効果的な情報発信

ターゲットを明確にした広報戦略として、稲城市サイクリングマップ（稲城ぽたり日和）を制作し、サイクリストへの誘客を行いました。また、訪問の動機付けとなるような広報戦略施策として、稲城市観光課公式X及び稲城なしのすけFacebookのフォロワー数の増加やインプレッション数（※14）の獲得に努めました。さらに、稲城市観光案内マップ（稲城ぶらり散歩）を制作し、稲城の観光PRへ活用しました。また、市外・インバウンド向けの広報戦略として、Wi-Fi 環境整備への補助や多言語案内シールGuidoor を導入しました。さらに、ロケーションサービス（撮影支援）の推進施策として、ロケーション撮影の誘致や撮影支援を積極的に行うことにより、撮影支援件数を増加させました。



▲稲城ぽたり日和



▲稲城ぶらり散歩

基本方針（6） 目標の数値化及び効果測定

自主統計による数値目標の設定施策として、独自の観光統計等に基づき、いなぎ発信基地ペアテラスの入込数、イベント事業の参加者数・来訪者数等の数値目標を設定し、効果測定を行いました（表1）。しかし、経済波及効果の検証ができる統計の整備まで至っていません。

表 1

（単位：人）

目標項目	基準（令和3年度）	目標	令和6年度実績
いなぎ発信基地ペアテラス入込数	69,522	71,557	83,796
観光ウォーキングツアー	180	180	78（申込者：146）
観光スタンプラリー	160	160	250
婚活事業	40	40	11
三沢川 桜・梨の花まつり	18,096	18,360	38,000
Iのまちいなぎ市民まつり	63,915	83,205	65,300

※イベント参加者数については、実施数及び定員数が一定であることから、目標値に変動は無い。

基本方針（7） 関係組織・庁内との連携

市の観光施策の担い手として中心となる稲城市観光協会は、これまでの事業遂行のノウハウを蓄積し、市ときめ細やかな連携を図ってきました。また、学校・諸機関等との連携施策として、駒沢女子大学、稲城市観光協会、本市の三者で締結した「稲城市観光まちづくり産官学連携協定」（平成30年）に基づく駒沢女子大学インターンシップ受け入れや、JAF（日本自動車連盟）、稲城市観光協会、本市の三者で締結した「観光協定」（平成30年）に基づき、三沢川 桜・梨の花まつりやIのまちいなぎ市民まつりのイベント出展等、民間等団体との連携に基づく事業の増加を図りました。



▲駒沢女子大学インターンシップ



▲JAFイベント出展

第 3 章

稲城市の観光の現状と 今後の展望

1 稲城市の観光の現状

(1) 市民意識調査（観光に関する項目）【資料3】

本市では5年毎に市民意識調査（回答数：658）を行っており、調査項目となっている観光に関する満足度について、令和6年度発行の結果報告書から分析します。

①観光資源の活用やPR活動などの満足度について

満足またはやや満足と回答している割合（19.9%）に対して、不満またはやや不満（28.4%）、分からない（47.9%）と回答している割合が高く、新型コロナウイルス感染症の影響があったことも懸念されますが、本市が実施している観光事業の取り組みが十分には浸透していない状況が見取れます。しかし、過去3回の調査結果からの経年変化で比較すると、満足またはやや満足と回答している割合は、少しずつ増加しています。

②商工業・観光・農業について力を入れるべき施策について

観光拠点の形成や観光資源の活用など観光の振興（22.9%）は、企業誘致や商店街の活性化など商業の振興（57.4%）、農地の保全や活用などの農業の振興（36.5%）、雇用の安定と就業の確保など勤労者施策の推進（29.2%）に次いで高い割合となっています。今後の方向性として、関心の高い分野の施策と観光施策を組み合わせることで、新たな観光体験や価値を生み出すことが求められます。

(2) 「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査【資料4】

令和7年3月に行った「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート（回答数：371人）を分析した結果、本市の魅力として、梨やぶどう等の農産物に加えて、よみうりランドを挙げる市民が多く、また、暮らしやすさや水や緑、里山や谷戸といった生活環境を挙げていることが分かります。さらに、読売ジャイアンツや東京ヴェルディのホームタウンであることも少なくない市民が魅力として挙げています。

その魅力を市外の方へ伝え、市外からの来訪が増えることについては、約2/3の方が前向きに捉えている一方で、受け入れを消極的に思う意見も1割弱いることも留意する必要があります。

また、本市では、これまでいなぎ発信基地ペアテラス・稲城サイクルカフェの建設や稲城市観光協会を発足させるなど、観光施策を実施してきましたが、観光事業の推進による稲城市のイメージ変化について、半数弱の市民が変化を感じているものの、まだ、約1/3の市民が変化を感じるまでには至っていないことが分かります。

今後は、観光施策のPRをこれまで以上に尽力するとともに、その効果がシビックプライドの醸成につながるよう注力する必要があると考えられます。

2 今後の展望

観光事業の推進による効果を最大限に引き出すためには、第二次計画からの残された課題やこれまでのアンケート調査、観光動向を踏まえ、本市の観光を取り巻く状況を整理し、その状況に応じた施策を講じる必要があります。

総合計画の策定に伴う人口推計分析によれば、本計画期間中は緩やかな人口増加が続くとされています。人口の増加傾向により都市基盤整備が進展し、あわせて商業施設の出店が進むことも予想され、まちの活力の向上とともに賑わいの創出の面で観光の役割が求められますが、一方では、地域間で商業施設が偏在している問題や本市の魅力の一つである豊かな緑の保全に関する配慮なども必要となります。

施策の方向性としては、多様な観光資源を背景に、本市が取り組む観光施策の基本的な考え方である「ニューツーリズム」（※15）の流れに乗せて、既存の資源に磨きをかけるとともに、新たな資源を発見し、または新たに創造して、地域発の観光を提案する「着地型観光」として展開することを検討します。

また、従来の観光の枠にとらわれず、観光産業と他分野・異業種が連携することで新しい技術や価値観を取り入れ、新たなビジネスや地域活性化の仕組みを生み出す「観光との新結合」（※16）を模索し、単なる観光振興にとどまらず、地域経済の循環や新たな雇用創出に貢献することで、持続可能な観光の実現を目指します。これにより、シビックプライドの醸成を図り、「住んで良し」・「訪れて良し」の観光まちづくりが実現します。

第 4 章

基本理念と基本方針

第2章における稲城市を取り巻く状況や第3章における稲城市の観光の現状と今後の展望を踏まえ、今後、稲城の観光を推進する上での基本理念と、これに基づいた基本方針、そして取り組むべき個別の施策をまとめます。なお、施策実施にあたっては、目標達成までの道のりを明確にし、情報共有するためのロードマップを作成するとともに、事業ごとにターゲットを設定して、参加者・来場者等へのメリットを明らかにします。

また、本計画の目指す稲城の将来像「稲城ツーリズムビジョン2030」に向けた観光施策を模式化し、計画概念図としてまとめました。

1 基本理念

国内外を意識した観光産業の育成と持続可能な観光まちづくりを推進し、シビックプライドを醸成する

2 基本方針

基本方針（1） 地域資源の活用と高付加価値化

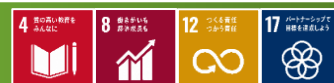


本市は大衆を対象とした発地型のマスツーリズムではなく、既存の自然・文化・産業等の地域資源を最大限に活用し、特別な目的をもつ旅行(SIT：スペシャル・インタレスト・ツアー)に重点が置かれる着地型のニューツーリズムに基づく観光施策を展開します。そのために、地域資源の見せ方を工夫し、ストーリーに磨きをかけ、来訪者目線で観光事業を推進します。

さらに、従来の観光業の枠を越えて、他分野・異業種が連携することで、新しい技術や価値観を取り入れ、観光体験を高付加価値化(※17)する取り組みである「観光によるイノベーション」を模索し、持続可能な観光の実現を目指します。

反面、本市は既成市街地やニュータウンを抱える住宅地域であり、観光客と地域住民との摩擦を避けるためにも、観光客の導線の整備や観光客の回遊範囲のゾーニング(※18)といった検討も必要です。

基本方針（2） 観光関連産業の育成と支援



これまで農業、商業、文化・芸術活動、市民活動等を観光事業につなげ、地域の賑わい創出を図ってきましたが、今後、市内随一のレジャー施設であるよみうりランドやTOKYO GIANTS TOWNをはじめとする南山エリアの発展が、本市の人の流れを大きく変えます。これを契機に、市内の観光関連産業との連携や事業者の観光事業への参入支援・育成を強化し、市内への回遊を促すことで、地域経済の発展につなげます。特に飲食事業の新規参入支援やご当地グルメの開発助成を通じて新たな観光関連事業者の育成を強化します。

また、本市をホームタウンとして活躍する読売ジャイアンツ・東京ヴェルディ等、プロスポーツチームとの連携も、地域の賑わい創出に加え、市民にとって話題や誇りともなり、地域に好循環が生まれる

原動力となります。

こうした状況にある本市が、継続的に観光事業を推進するためには、稲城の観光全体を統括できる中核人材の育成は急務です。

基本方針（3） 地域ブランドの構築と効果的な情報発信



稲城観光に関するブランドイメージの確立は、観光事業の推進に大切な要素となります。現在、シティプロモーションカードや稲城ロケーションサービス（※19）等にて、稲城市の魅力を発信する事業を進めていますが、今後、稲城市観光協会を中心に情報発信を一元化し、統一されたブランドイメージを築いて、稲城観光の魅力に対する認知度の向上を図ります。特にメカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトは世界に通用するオンリーワンの文化資源であると位置付けてブランドの中心において訴求していきます。

その上で、多様な観光資源について、訴求するターゲットを明確に設定し、効果的に情報を発信します。情報発信は、いなぎ発信基地ペアテラスや東京観光情報センター、ゴルフ日本シリーズ、そうま市民まつり等のイベントPRブース出展といった実店舗型のものから、広報紙やウェブサイト、SNS 等まで様々な媒体を想定し、世界への情報発信も視野に入れて目的に沿ったメディアを適切に選択します。特にインバウンド需要に関しては、今後本市へ大きな影響を及ぼす可能性もあり、デジタルマーケティング（※20）を強化するなどして、多言語対応やインフラ整備等、新たな広報戦略を打ち出します。

SDGs（持続可能な開発目標）

稲城市のまちづくりの基本的な理念と、「誰一人として取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現というSDGs（※21）の理念とは、目指すべき方向性が一致しています。

SDGsのゴール地点と同じく目標年次を2030年と定める総合計画及び本計画においては、持続可能なまちづくりを推進すると同時に、その実現を通してSDGsの達成を目指します。



3 個別の施策（★は重点施策）

施策① メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトの国際化と文化観光の推進★

当市は、「機動戦士ガンダム」や「装甲騎兵ボトムズ」「ヤッターマン」等のメカニックデザイナーとして世界的に高名な大河原邦男氏の出身・在住地です。メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトは世界に通用するオンリーワンの文化資源であると位置付けて、大河原氏のご協力の下、関連する作品のモニュメント設置・維持管理や国際イベント等を実施し、世界に通用する観光コンテンツとして磨きをかけます。また、市内の商工業者や教育機関との連携も模索し、メカニックデザインに関する新たな観光ビジネス等の創出を通じた地域活性化や定住促進につなげています。

本施策を継続するとともに更なる創意工夫を重ね、文化的な価値を持つ本プロジェクトを世界に向けて発信し、後世へ確実に継承できるような仕組みづくりを研究します。

【具体的な事業例】

- ・メカデザインコンテスト事業
- ・メカデザインワークショップ
- ・大河原邦男テンポラリーミュージアム
- ・JNT0（※22）と連携した世界に向けたプロモーションやFAMツアー（※23）の実施
- ・公式キャラクター（稲城なしのすけ、オネカン戦士稲城ペダリオン）の運用
- ・モニュメントの維持管理
- ・プロジェクトのアーカイブズ化（※24）
- ・関連グッズの開発 など



▲ガンダム・ザクモニュメント



▲メカデザインワークショップ



▲稲城なしのすけ

施策② スポーツツーリズムの強化★

本市をホームタウンとして活躍する読売ジャイアンツ・東京ヴェルディ等、プロスポーツチームとの連携・支援は、地域の賑わい創出や経済効果に加え、市民にとって話題や誇りともなり、地域に好循環が生まれる原動力となります。さらに、市外からジャイアンツスタジアムへの観光客を見込んだスポーツホスピタリティ（※25）は、地域の発展や観光需要の喚起にもつながるため、スポーツイベントや交流を目的とした集客事業を進めます。

また、従来の観光の枠にとらわれない他分野・異業種企業や団体等との連携は、これまで接点がなかったマーケットへの進出や新しい観光客の獲得が見込まれるため、多くの集客・交流が見込まれるビジネスイベントへの誘致にも積極的に取り組みます。

【具体的な事業例】

- ・ 稲城市フェスタ in ジャイアンツスタジアム
- ・ GIANTS HOMETOWN fes
- ・ GIANTS×VERDY タッグフェスタ
- ・ 稲城市ヴェルディ応援DAY
- ・ 部活動やスポーツ大会支援
- ・ パブリックビューイング
- ・ 読売ジャイアンツ秋季キャンプ連動事業
- ・ TOKYO GIANTS TOWNでのビジネスイベントの誘致 など



▲GIANTS HOMETOWN fes



▲稲城市ヴェルディ応援DAY



▲読売ジャイアンツ応援ウィーク

施策③ 読売グループとの連携★

総合レジャー施設として成長を続けるよみうりランド（HANA・BIYORI、花景の湯を含む）をはじめ、新たに建設されたジャイアンツスタジアムやよみうりランド内にオープンした「ポケパーク カントー」、また今後オープン予定の水族館等、読売グループの「TOKYO GIANTS TOWN」構想は、本市の人の流れを大きく変えます。これを契機に、本市と読売グループとは「TOKYO GIANTS TOWN」構想の実現等による地域活性化（地域発展）の推進に関する包括連携協定を結び、相互に連携・協力し、地域の持続的な発展及び教育・文化・スポーツの振興等に取り組みます。



▲よみうりランド



▲HANA・BIYORI



▲TOKYO GIANTS TOWN（イメージ）

また、これに連動した本市への誘客促進や地域の賑わい創出のために、市内への回遊を促す取り組みとして、デジタル観光マップを活用したスタンプラリー等のイベント実施や営業情報の発信など、公民一体となって事業展開をします。

【具体的な事業例】

- ・いなぎデジタルマップ
- ・デジタルスタンプラリー
- ・メカデザインコンテスト など

施策④ 自転車のまち稲城の推進★

これまで、多摩川サイクリングコースや南多摩尾根幹線道路といったサイクリストの集まりやすい地の利や、東京2020オリンピック大会自転車競技（ロード）実施したオリンピックレガシーを生かして、「自転車のまち稲城」の事業を推進してきましたが、今後サイクリストの聖地として本市が事業を継続していくためにも、サイクリングの起点・終点としての機能強化や広域での事業連携に取り組みます。

【具体的な事業例】

- ・稲城サイクルカフェ
- ・稲城クロス
- ・GOOD CYCLE JAPAN 推進モデルルート活用事業
- ・スポーツバイクの安全な乗り方講座
- ・サイクルイベント
- ・スポーツバイク等のレンタルサイクル事業
- ・自転車ルートの整備や安全の確保（案内・標識、ルート表示線等の整備） など



▲稲城サイクルカフェ



▲稲城クロス



▲スポーツバイクの安全な乗り方講座

施策⑤ 観光関連産業のスタートアップ育成、商店街への支援

これまで、当市の観光事業へイベント実施といった形で積極的に参画している（株）エリアブレインや（株）JR中央線コミュニティデザインといった事業者に加え、よみうりランドやTOKYO GIANTS TOWNをはじめとする南山エリアの発展を好機としてとらえて、新たに市内回遊を促進するため、市内の観光

関連産業のスタートアップ育成（※26）や商店街への支援を強化します。また、観光関連産業の集積を図り、地域経済の発展につなげるとともに、地域が稼ぐ観光の仕組みの構築を目指します。

【具体的な事業例】

- ・観光イベントの実施援助
- ・ご当地グルメ開発助成
- ・商店街振興事業補助
- ・稲城市中小規模飲食店舗出店補助
- ・事業者誘致制度
- ・スタートアップ研修事業 など



▲稲城の昔ばなしまんじゅう



▲イナギノトビラ

施策⑥ 既存の観光資源を活用したニューツーリズムの促進

三沢川 桜・梨の花まつりや、水と緑や里山等を巡る観光ウォーキングツアー、スタンプラリー等、これまでに培われたノウハウを継承し、新たな魅力を加えながら工夫を重ねていくことで、既存事業の更なる質の向上を図ります。また、市内に残されている歴史・文化遺産等を観光資源として発掘し、稲城市郷土資料室や平尾の古民家、小田良の棚田や上谷戸親水公園など里山資源、また、新たに地域の交流拠点としてオープンした LOUNGE WITH 372 等を活かした国際的なアートイベントを行うなど新たな観光事業の展開を試みます。

加えて、本市の地域資源を活用したロケーションサービス（撮影支援）を推進します。ロケーション撮影の誘致や撮影支援を積極的に行うことにより、効果的なシティプロモーションを図るとともに、地域経済の活性化に取り組みます。また、訪問の動機付けとなるよう、魅力的なロケーション情報を広く発信します。



▲観光ウォーキングツアー



▲LOUNGE WITH 372



▲ロケーション撮影の様子

【具体的な事業例】

- ・三沢川 桜・梨の花まつり、三沢川さくら回廊ライトアップ
- ・観光ウォーキングツアー、スタンプラリー
- ・稲城市デジタルアーカイブズ
- ・里山アートイベント
- ・稲城ロケーションサービス など

施策⑦ 交流・関係人口の創出・拡大

市では、姉妹都市の北海道大空町や友好都市の福島県相馬市・長野県野沢温泉村など、姉妹友好都市との連携が年々強化されており、令和3年にはアメリカ合衆国カリフォルニア州フォスターシティ市と初の海外の姉妹都市として連携協定を締結しました。この姉妹友好都市を足掛かりに様々な事業を展開し、交流・関係人口の創出・拡大を図ります。

さらに交流・関係人口が拡大し、本市PRの機会が増加した際には、観光大使やいなぎ観光案内人、稲城市観光協会サポーターズクラブ等の活動が期待されます。

【具体的な事業例】

- ・稲城市契約旅館利用助成制度
- ・姉妹友好都市交流事業
- ・相馬野馬追観覧バスツアー
- ・各自治体のイベント等での観光PRブース出展



▲フォスターシティ市との交流



▲大空町との交流



▲相馬野馬追



▲野沢温泉自転車祭

施策⑧ 観光DXの推進

デジタル技術を活用して、本市の観光に関する課題を解決し、新たな観光体験やビジネスモデルの創出、業務効率化を図ります。また、単なる観光事業のデジタル化にとどまらず、外部の専門人材等を登用するなどしてデータを分析・活用することで、来訪者の満足度向上や消費拡大、持続可能な観光まちづくりにつなげます。

【具体的な事業例】

- ・市や観光協会ウェブサイト等のアクセス分析
- ・いなぎデジタルマップの活用
- ・外国人観光客向けの多言語化事業
- ・シェアサイクル事業の推進
- ・稲城市新交通システムの検討



▲シェアサイクル事業

施策⑨ デスティネーション・マーケティングの基盤整備

本計画を推進するために観光協会と連携し、デスティネーション・マーケティング（※27）の基盤整備を行います。具体的には、観光入込数や観光消費額などの観光統計の整備と活用、観光資源の磨き上げや各種イベントの企画運営、ターゲットを明確にした情報発信を行いながら、PDCAサイクルによって観光地域経営を推進するための仕組みづくり、人材登用と育成を行っていきます。

【具体的な事業例】

- ・市内事業者向けのアンケート調査や位置情報を活用した観光行動調査
- ・RAIDA（地方創生データ分析評価プラットフォーム）（※28）を活用した観光データの活用
- ・デジタルマーケティング人材の登用と育成
- ・施策毎の事業者によるワーキンググループの設置
- ・JNTOや東京都観光財団等と連携した情報発信の国際化 など

4 数値目標

本計画の実現のために、数値目標を設定します（表2）。この数値目標を毎年把握し、計画の進捗管理を行います。

表2

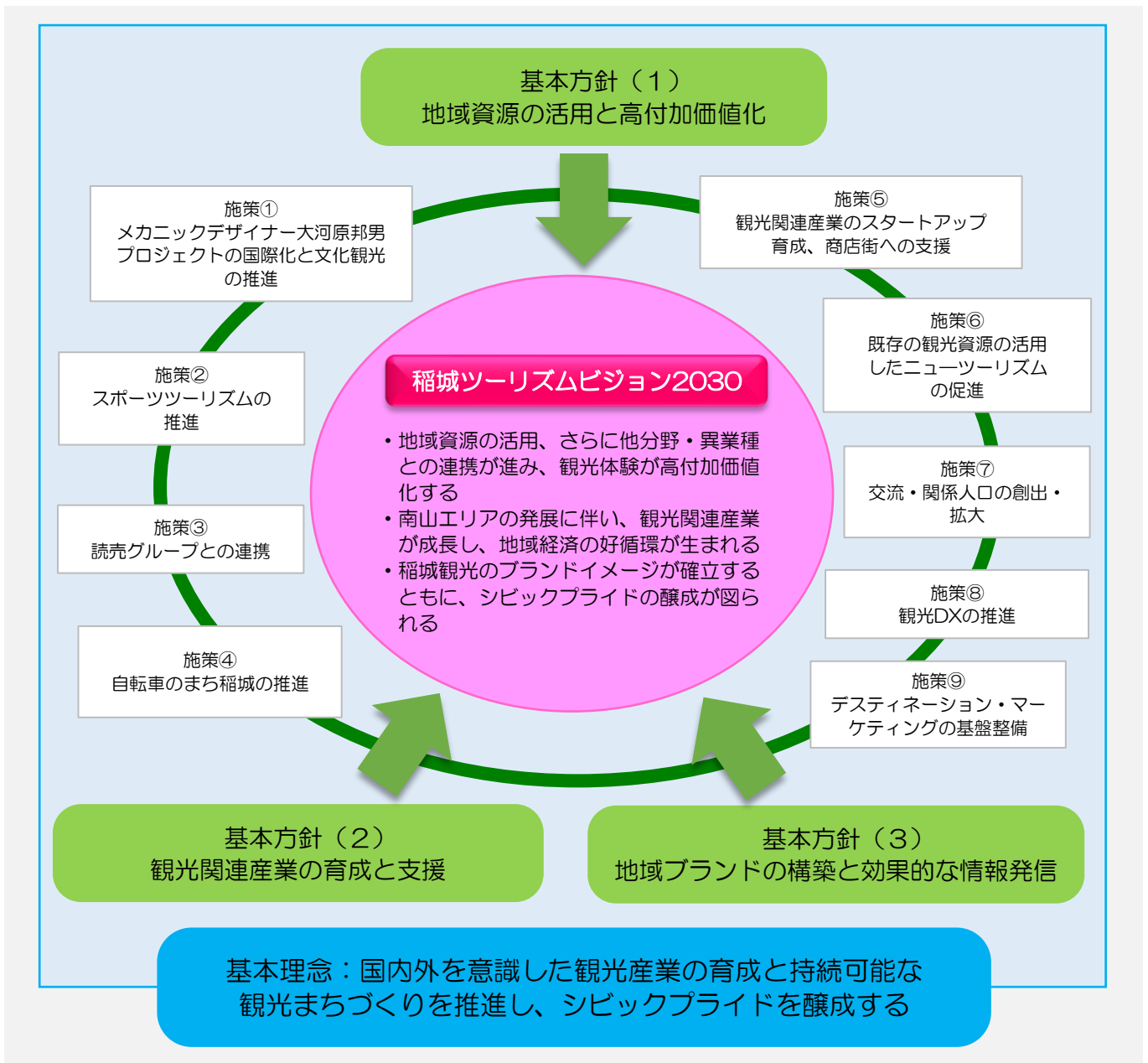
目標項目	基準（令和6年度）	目標（令和12年度）
三沢川 桜・梨の花まつり来場者数	38,000人	50,000人
Iのまちいなぎ市民まつり来場者数	65,560人	94,000人
カニッペザイフ-大河原邦男プロジェクトのイベント参加者数	177人	3,000人
いなぎ発信基地ペアテラス入込数	83,797人/年	109,000人/年
稲城サイクルカフェ利用者数	7,000人/年	10,000人/年
市内飲食店軒数	127軒	160軒
稲城市観光協会加盟団体数	62団体	80団体
市ウェブサイト（観光関連）表示回数	340,647回/年	487,000回/年
市X（観光）フォロワー数	3,445人	10,000人
市Facebook（稲城なしのすけ）フォロワー数	2,484人	10,000人
稲城市観光協会ウェブサイトセッション数	84,000回/年	120,000回/年
稲城市観光協会Xフォロワー数	3,392人	10,000人
稲城市観光協会Instagramフォロワー数	1,694人	10,000人

※基準は、本計画作成時点での概算値

5 計画概念図

本市の総合計画では、「賑わいの創出による観光のまちづくりの推進」による「2030年代の稲城」を「①既存の観光資源やイベントについて、その存在、貴重さが広く共有されるとともに、新たな観光資源の発掘が進められている。②農業、商業、スポーツ等の関連分野や市民活動・交流事業をツーリズムにつなげ、賑わいの創出が図られている。特に、よみうりランドやTOKYO GIANTS TOWN等と連動し、市内への誘客が図られている。③稲城市観光協会、市民活動団体、観光関連諸団体、民間企業等との連携が強化されている。また、周辺地域との観光連携も進展している。④観光やイベントに関する情報発信量が増加し、稲城市の知名度が高まっている。」としています。本計画では、これらの内容を整理し、令和12年度までの間に目指すべき稲城市の将来像を「稲城ツーリズムビジョン2030」として、次のとおり計画概念図をまとめました。

計画概念図



第 5 章

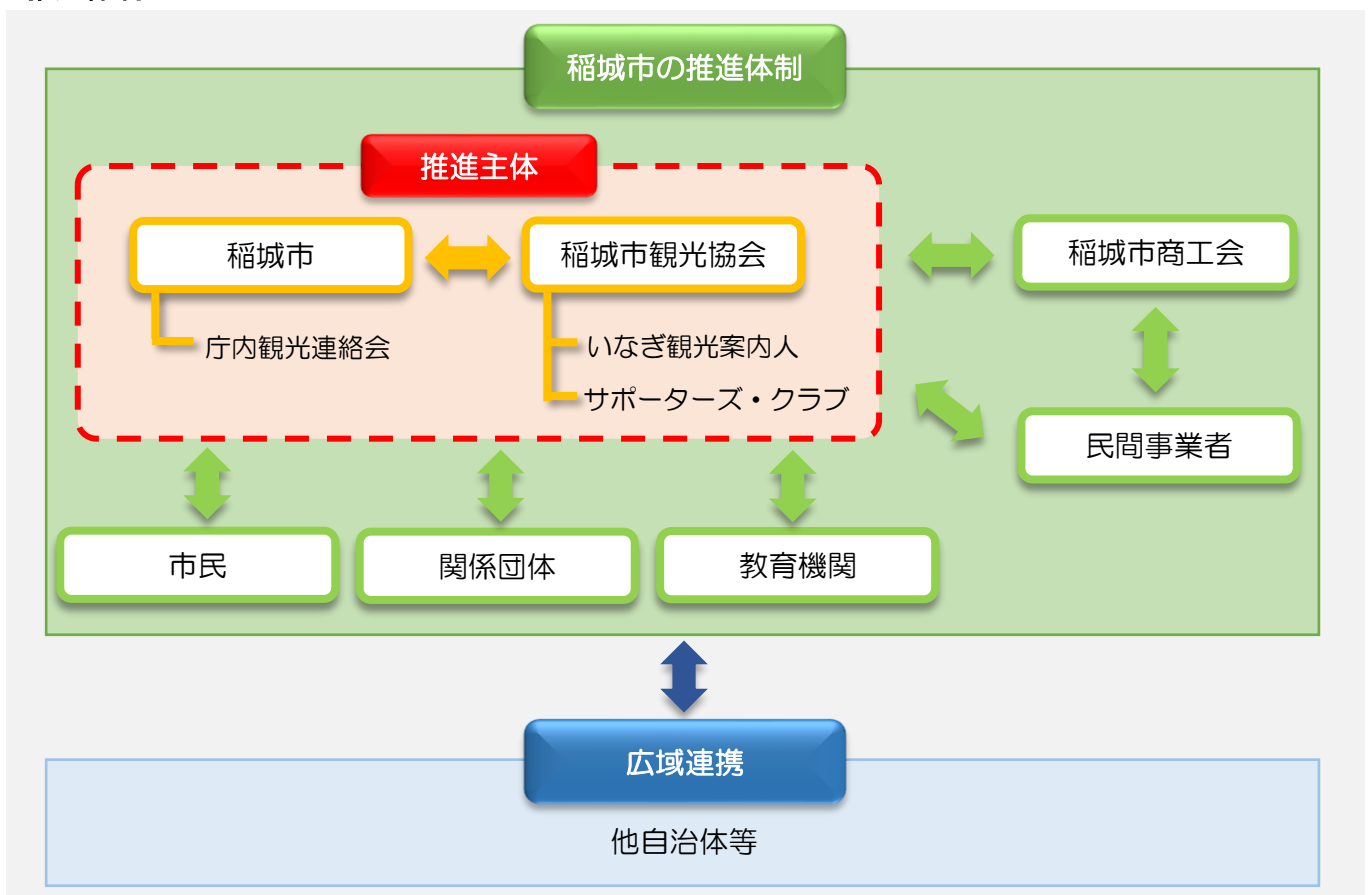
推進体制

本計画の推進にあたっては、行政や稲城市観光協会といった推進主体が、既存の観光資源の魅力に磨きをかけるとともに、新たな発掘を行い、まちの賑わいを創出していきます。しかし、稲城市の観光まちづくりの推進は、行政や稲城市観光協会だけではなく、稲城市商工会、関係団体（稲城市商店会連合会、東京南農業協同組合、スポーツ関連団体、芸術文化団体等）、教育機関や市民が広く参画し、自主的に活動していく姿が理想的であり、そこからまちに対する誇りや愛着心である「シビックプライド」が醸成されていきます。さらに、広く事業展開が見込まれるものについては、近隣の自治体等と広域連携事業を進めていきます。

また、民間事業者との公民連携も観光まちづくりに重要ですが、現状では観光事業の担い手が不足しており、必ずしも観光の発展による恩恵を受けている人は多いとは言えません。それを克服するためには、世界に通用する観光資源に磨きをかけて新たな観光需要を創出する一方で、観光ビジネスの担い手となる新たな観光関連事業者の育成は必要不可欠です。成長する世界の観光市場のチャンスを取り込むことができる、市内事業者の新規参入を促す観光ビジネスのスタートアップ育成を強化していきます。

本計画に係る全ての主体が本計画の目的や取組方針について共通認識を持ち、観光事業の担い手として一体となって観光事業を展開していくことで、持続可能な観光地域づくりが実現します。そのためにも、推進主体である稲城市・稲城市観光協会を中心とした、定期的に情報交換のできる仕組みを構築して、お互いの顔が見える関係を築いていきます。

推進体制



それぞれの役割と関わり方については次のとおりです。

稲城市

本計画の策定主体として、国や東京都の動向を踏まえるとともに、関連する計画との整合を図りながら、本市観光事業に対する責任ある舵取りを行います。本計画の着実な実施に向けて、他の行政機関や団体、市民や民間事業者など多様な実施主体との役割分担を踏まえつつ、相互に連携し事業を推進します。特に、稲城市観光協会とは、当市観光事業推進の両輪として緊密な連携を図ります。

稲城市観光協会

市の観光事業推進の両輪として、市と緊密な連携を図りながら、観光に関する状況の把握、観光資源の調査・開発、情報収集・発信、地域イベントの企画運営など、市の観光全般に関するプロモーションやプロデュース、コーディネート等に取り組みます。また、当市の観光事業をけん引できるコア人材の育成も重要です。

稲城市商工会

観光まちづくりには飲食店等商業者が大きな役割を果たしており、その核となる組織は商工会です。今後、事業者誘致や補助事業など横断的な施策も期待されます。

関係団体

各団体との相互連携を図りつつ、各団体の強みを生かした活動により、観光振興に努める役割が期待されます。

教育機関

イベントへの参加などを通じて、観光に関心を持ち、観光が果たす役割について理解を深めるとともに、各種観光施策への協力、積極的な情報発信等の役割が期待されます。特に、市内唯一の大学である駒沢女子大学との連携は重要です。

市民

まちづくりにおける観光の重要性について理解を深め、市民生活の満足度を向上させるとともに、地域における観光推進に向けた取り組みへの参加者や協力者が増加することが期待されます。

民間事業者

観光事業を推進するためには公民連携は必須であり、市内随一のレジャー施設であるよみうりランドやTOKYO GIANTS TOWNなど読売グループをはじめ、飲食業や交通事業、宿泊業などの観光関連産業と連携し、来訪者に対して質の高いサービスを提供することでリピーターの獲得を図るとともに、市内事業者が観光を事業化できる仕組みを創出することで、地域経済の活性化を図ります。

広域連携

自転車関連事業やホームタウン支援推進事業等、広く事業展開が見込まれるものについて、自治体の枠を越えて連携し事業を進めることで、観光資源の価値を高めることやスケールメリット（※29）を活かした事業展開が期待されます。

資料編

資料 1 稲城市の観光資源一覧表

カテゴリー	主な観光資源
伝統文化	江戸の里神楽（穴澤天神社） 青渭囃子（青渭神社） 獅子舞（穴澤天神社、青渭神社、大麻止乃豆乃天神社） 蛇より行事（妙見寺・妙見尊） どんど焼き（塞ノ神行事）
歴史・史跡	小沢城跡、大丸城跡、長沼城跡 延喜式内社（穴澤天神社、青渭神社、大麻止乃豆乃天神社） 妙見寺・妙見尊、常楽寺、妙覚寺、宝蔵院、豎神社、円照寺 高勝寺、杉山神社、但馬稻荷神社、津島神社（上新田、下新田） 多摩川の渡船場跡（是政、押立、矢野口） 馬頭観世音塔、孝子長五郎の墓 光仙婆さんの祠 郷土資料館（ふれんど平尾）
美術・音楽	稲城梨唄、稲城繁盛節、稲城市歌 パブリックアート（若葉台、向陽台） 稲城市立 i プラザ（音楽、演劇、ギャラリー）、LOUNGE WITH 372
映画・ドラマ（ロケ地）	稲城北緑地公園、多摩川 若葉台・向陽台・長峰のニュータウン 稲城ふれあいの森
自然・景観	多摩川、三沢川、大丸用水、多摩丘陵（谷戸）、南山 里山、みはらし緑地、稲城ふれあいの森、平尾の古民家 ありがた山
公園	稲城中央公園、城山公園（城山野草園）、稲城北緑地公園 多摩川緑地公園、若葉台公園、上谷戸親水公園 いなぎペアパーク
動植物	桜（三沢川、稲城北緑地公園、よみうりランド等） 紫陽花（大丸用水、妙覚寺など） 梨の花、れんげ、アカシア林、イチヨウ、梅 大塚牧場、木曾駒（馬）親子 チョウゲンボウ、ホタル
みち・街なみ	ニュータウン（若葉台、向陽台、長峰） 南多摩尾根幹線道路 多摩川サイクリングコース くじら橋（稲城中央公園） 上谷戸大橋、巨人への道、よみうりV通り 南山

カテゴリー	主な観光資源
食・特産品	稲城の梨、高尾ぶどう、ブルーベリー、稲城の昔ばなしまんじゅう 地域認証ブランド商品「稲城の太鼓判」 (稲城の梨ワイン、梨シャーベット、梨ジュース等) JA東京みなみ稲城支店(農産物直売所) フルーツ狩り体験(梨、みかん、ブルーベリー等)
商業・宿泊施設	よみうりランド、HANA・BIYORI 花景の湯、季乃彩(入浴施設) ペアリーロード稲城商店街、平尾団地商店会 縁結び友i商店会、弁天通り商店会 東横INN府中南武線南多摩駅前(宿泊施設) ステーションホテルちゃぼ(宿泊施設)
スポーツ	読売ジャイアンツ、ジャイアンツタウンスタジアム 東京ヴェルディ、日テレ・東京ヴェルディペレーザ(本拠地) ゴルフ場(東京よみうりCC、よみうりGC、多摩CC等) 自転車のまち(稲城クロス、スポーツバイクの安全な乗り方講座、 シェアサイクル、GOOD CYCLE JAPAN推進モデルルート活用事業等)
アニメ・POPカルチャー	稲城なしのすけ(公式イメージキャラクター) モニュメント(ガンダム・シャア専用ザク、ヤッターワン、 スコープドッグ、オネカン戦士稲城ペダリオン) デザインプレート(ヤッターワン、スコープドッグ) 稲城なしのすけ時計台 デザインマンホール蓋(ガンダム、稲城なしのすけ等)
まつり・集客イベント	Iのまち いなぎ市民まつり、稲城フェスティバル 三沢川 桜・梨の花まつり、三沢川さくら回廊ライトアップ メカデザインコンテスト・ワークショップ 市内のイルミネーション(若葉台駅前、矢野口駅前等)
産業	日本フィルコン(株)、スーパーレジン工業(株) 北村コンクリート(株)、(株)KORG、コーチャンフォー若葉台店 テレビ朝日若葉台メディアセンター 南多摩水再生センター クリーンセンター多摩川
著名人	大河原邦男(メカニックデザイナー) 井上ジェット(マルチクリエイター) 佐藤康光(将棋棋士、元日本将棋連盟会長)、i MUSICA(音楽家)
その他	いなぎ発信基地ペアテラス 稲城市観光協会

資料2 第二次計画の事業実績

第五次稲城市 長期総合計画	第二次稲城市観光基本計画		令和3年度	令和4年度	
	基本方針	施策			
第3章 環境・経済・観光 ～水と緑につつまれ 活力あふれる賑わいのまち稲城 第3節 活力あふれるまちづくりと魅力の発信 4 賑わいの創出による観光のまちづくりの推進	(1) 観光資源の活用・発掘	①蓄積されたノウハウの活用	・観光ウォーキングツアー ・スタンプ&クイズラリー	・観光ウォーキングツアー ・スタンプ&クイズラリー	
		②観光資源の魅力化・付加価値化	・三沢川さくら回廊ライトアップ	・三沢川さくら回廊ライトアップ ・三沢川 桜・梨の花まつり	
		③新たな観光資源の発掘			
		④メカニカルシティ稲城の推進	・メカデザイナーズサミット ・稲城なしのすけ誕生10周年パーティー	・メカデザイナーズサミット	
		⑤オリンピックレガシーの創出・活用	・稲城サイクルカフェ ・シェアサイクル事業 ・オネカン戦士稲城ベタリオン(モニュメント設置、名称公募) ・配電用地上機器ラッピング	・稲城サイクルカフェ ・シェアサイクル事業 ・オネカン戦士稲城ベタリオン(着ぐるみ制作) ・GOOD CYCLE JAPAN推進モデルルート活用事業(準備会の開催)	
		(2) 関連分野・組織との連携	⑥大型観光施設との連携	・稲城市フェスタinジャイアンツ球場	・稲城市フェスタinジャイアンツ球場
			⑦商業・農業・経済分野との連携		・農業体験事業 ・小田良ベースとの連携
			⑧スポーツ分野との連携(スポーツツーリズム)		・稲城クロス
			⑨広域観光連携の継続	・京王線沿線観光連絡会議 ・南武線沿線自治体シティプロモーション推進協議会 ・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 ・タマリズムプロジェクト ・南多摩3市観光連携プロジェクト	・京王線沿線観光連絡会議 ・南武線沿線自治体シティプロモーション推進協議会 ・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 ・タマリズムプロジェクト ・南多摩4市観光連携プロジェクト ・多摩マッチングプロジェクト(婚活事業)
		(3) 近郊都市型観光の確立とシビックプライドの醸成	⑩近隣地域との差別化		・稲城体感ツアー
	⑪観光まちづくりへの市民の参画		・稲城ツーリズムカレッジ	・稲城ツーリズムカレッジ ・稲城市観光協会サポーターズクラブ設置	
	(4) 観光人材・産業の育成	⑫観光を担う人材の育成			
		⑬観光関連産業の育成			
	(5) 効果的な情報発信	⑭ターゲットを明確にした広報戦略		・稲城市サイクリングマップ制作	
		⑮訪問の動機付けとなるような広報戦略	・SNSによる情報発信	・SNSによる情報発信 ・稲城市観光案内マップ制作	
		⑯市外・インバウンド向けの広報戦略	・Wi-Fi環境の整備	・Wi-Fi環境の整備	
		⑰ロケーションサービス(撮影支援)の推進	・稲城ロケーションサービスによる撮影支援	・稲城ロケーションサービスによる撮影支援 ・稲城ロケーションサービスPR展示	
	(6) 目標の数値化及び効果測定	⑱自主統計による数値目標の設定	・いなぎ発信基地ベアテラス入込数の計測 ・イベント参加者数、来場者数の計測	・いなぎ発信基地ベアテラス入込数の計測 ・イベント参加者数、来場者数の計測	
		⑲経済波及効果の検証			
	(7) 関係組織・庁内との連携	⑳稲城市観光協会との連携	・いなぎ発信基地ベアテラスの運営 ・PRブース出展	・いなぎ発信基地ベアテラスの運営 ・PRブース出展	
		㉑学校・諸機関との連携			
㉒庁内組織との連携		・庁内観光連絡会	・庁内観光連絡会		

令和5年度	令和6年度	令和7年度
・観光ウォーキングツアー ・クイズラリー	・観光ウォーキングツアー ・クイズラリー	・観光ウォーキングツアー ・クイズラリー
・三沢川さくら回廊ライトアップ ・三沢川 桜・梨の花まつり	・三沢川さくら回廊ライトアップ ・三沢川 桜・梨の花まつり	・三沢川さくら回廊ライトアップ ・三沢川 桜・梨の花まつり
	・「稲城の昔ばなしまんじゅう」の開発	
・メカデザインコンテスト ・ものづくり・デザインワークショップ ・専用ウェブサイト、パンフレット制作 ・マンホールカード制作	・メカデザインコンテスト ・メカデザインワークショップ ・スコープドッグモニュメント (カラーライトアップ、レッドショルダー、ぬりえ デザインマンホールあんぱん開発) ・ロケットカード・観光PR音声ガイド制作	・メカデザインコンテスト ・メカデザインワークショップ ・スコープドッグモニュメント (カラーライトアップ、レッドショルダー、ぬりえ 手ぬぐい・缶バッジ・スタンド制作、5周年記念トー クショー)
・稲城サイクルカフェ ・シェアサイクル事業 ・観光案内サイン制作 ・GOOD CYCLE JAPAN推進モデルルート活用事業 (協議会の開催)	・稲城サイクルカフェ ・シェアサイクル事業 ・GOOD CYCLE JAPAN推進モデルルート活用事業 (協議会の開催、ルートの指定、ルートマーカー設置)	・稲城サイクルカフェ ・シェアサイクル事業 ・GOOD CYCLE JAPAN推進モデルルート活用事業 (協議会の開催、ロゴ・マップ・PR動画制作、PRブ ース出展)
・稲城市フェスタinジャイアンツ球場 ・ゴルフ日本シリーズPRブース出展	・稲城市フェスタinジャイアンツ球場 ・ゴルフ日本シリーズPRブース出展 ・Gタウン開業記念シンポジウム	・稲城市フェスタin Gタウン ・ゴルフ日本シリーズPRブース出展 ・GIANTS HOMETOWN fes ・いなぎデジタルマップ
・農業体験事業 ・小田良ベースとの連携		
・稲城クロス ・稲城市ヴェルディ応援DAY	・稲城クロス ・稲城市ヴェルディ応援DAY ・スポーツバイクの安全な乗り方講座 ・茨城県との共同事業	・稲城クロス ・稲城市ヴェルディ応援DAY ・スポーツバイクの安全な乗り方講座 ・相模原市との共同事業 ・野沢温泉自転車祭PRブース出展
・京王線沿線観光連絡会議 ・南武線沿線自治体スティプロモーション推進協議会 ・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 ・タマリズムプロジェクト ・多摩マッチングプロジェクト(婚活事業)	・京王線沿線観光連絡会議 ・南武線沿線自治体スティプロモーション推進協議会 ・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 ・タマリズムプロジェクト ・多摩マッチングプロジェクト(婚活事業)	・京王線沿線観光連絡会議 ・南武線沿線自治体スティプロモーション推進協議会 ・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 ・タマリズムプロジェクト
・稲城体感ツアー		
・稲城ツーリズムカレッジ	・稲城ツーリズムカレッジ	・稲城ツーリズムカレッジ
	・いなぎ観光案内人の育成 ・ガイド寄席	・いなぎ観光案内人の育成 ・ガイド寄席
・イナギノトビラ(マイタウン稲城) ・駅からハイキング(JR)	・イナギノトビラ(マイタウン稲城) ・駅からハイキング、南武線ピアマルシェ(JR)	・イナギノトビラ(マイタウン稲城) ・南武線ピアマルシェ(JR)
	・稲城市サイクリングマップ制作	
・SNSによる情報発信 ・観光ポスターの制作	・SNSによる情報発信 ・稲城市観光案内マップ制作	・SNSによる情報発信
・Wi-Fi環境の整備 ・多言語案内シールGuidoor	・Wi-Fi環境の整備 ・多言語案内シールGuidoor	・Wi-Fi環境の整備 ・多言語案内シールGuidoor
・稲城ロケーションサービスによる撮影支援 ・稲城ロケーションサービスPR展示、説明会	・稲城ロケーションサービスによる撮影支援	・稲城ロケーションサービスによる撮影支援 ・稲城ロケーションサービスPR展示
・いなぎ発信基地ベアテラス入込数の計測 ・イベント参加者数、来場者数の計測	・いなぎ発信基地ベアテラス入込数の計測 ・イベント参加者数、来場者数の計測	・いなぎ発信基地ベアテラス入込数の計測 ・イベント参加者数、来場者数の計測
・いなぎ発信基地ベアテラスの運営 ・PRブース出展	・いなぎ発信基地ベアテラスの運営 ・PRブース出展	・いなぎ発信基地ベアテラスの運営 ・PRブース出展
・駒沢女子大学インターンシップ生受け入れ ・JAFイベント出展	・駒沢女子大学インターンシップ生受け入れ ・JAFイベント出展 ・市内学校出張授業	・駒沢女子大学インターンシップ生受け入れ ・JAFイベント出展 ・市内学校出張授業
・庁内観光連絡会	・庁内観光連絡会	・庁内観光連絡会

資料3 令和6年市民意識調査（観光に関する項目）

調査概要

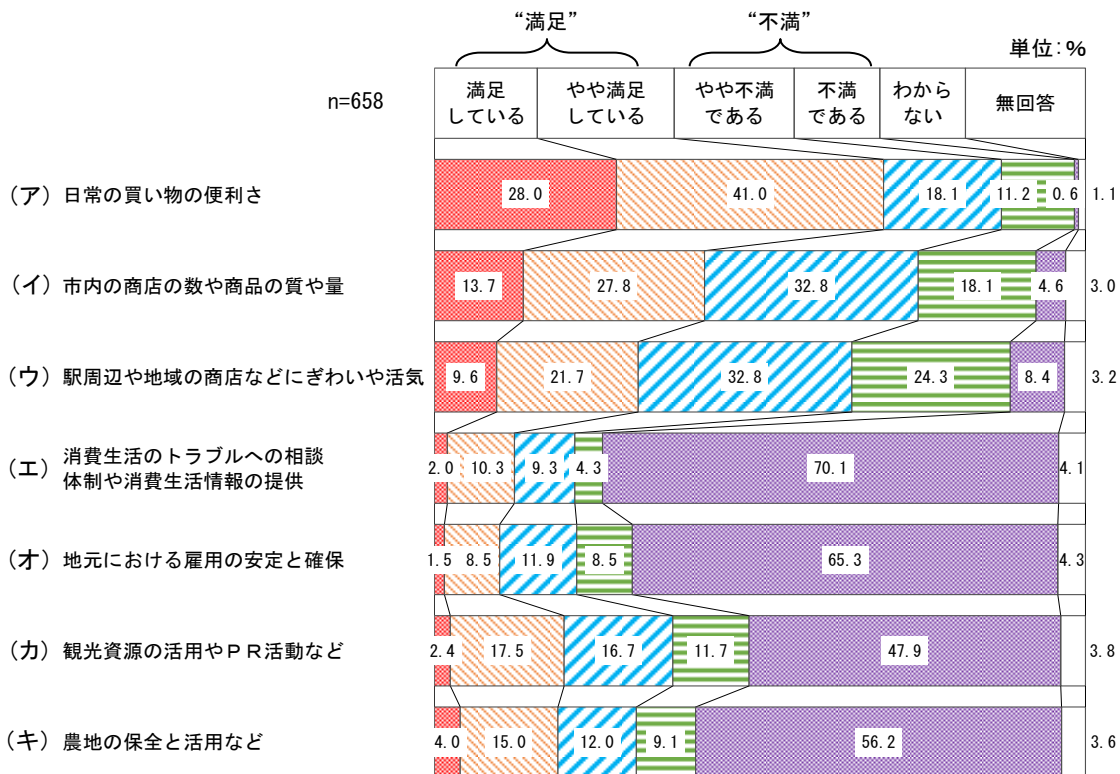
調査地域	稲城市全域
調査期間	令和6年7月16日から8月6日
調査対象	市内在住の16歳以上の男女
対象者数	2,000人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送配布・郵送またはWEB回答サイトでの回収）
回答数	664（郵送 455、WEB 209）：有効回収数 658

〔抜粋：第3章 調査結果 問5 商工業・観光・農林業の満足度（P29～31）〕

問5 商工業・観光・農林業の満足度

商工業・観光・農林業の施策に関する下のア～キの項目について、あなたは満足していますか。
（ア～キの各行ごとに、当てはまるものに○を1つずつ）

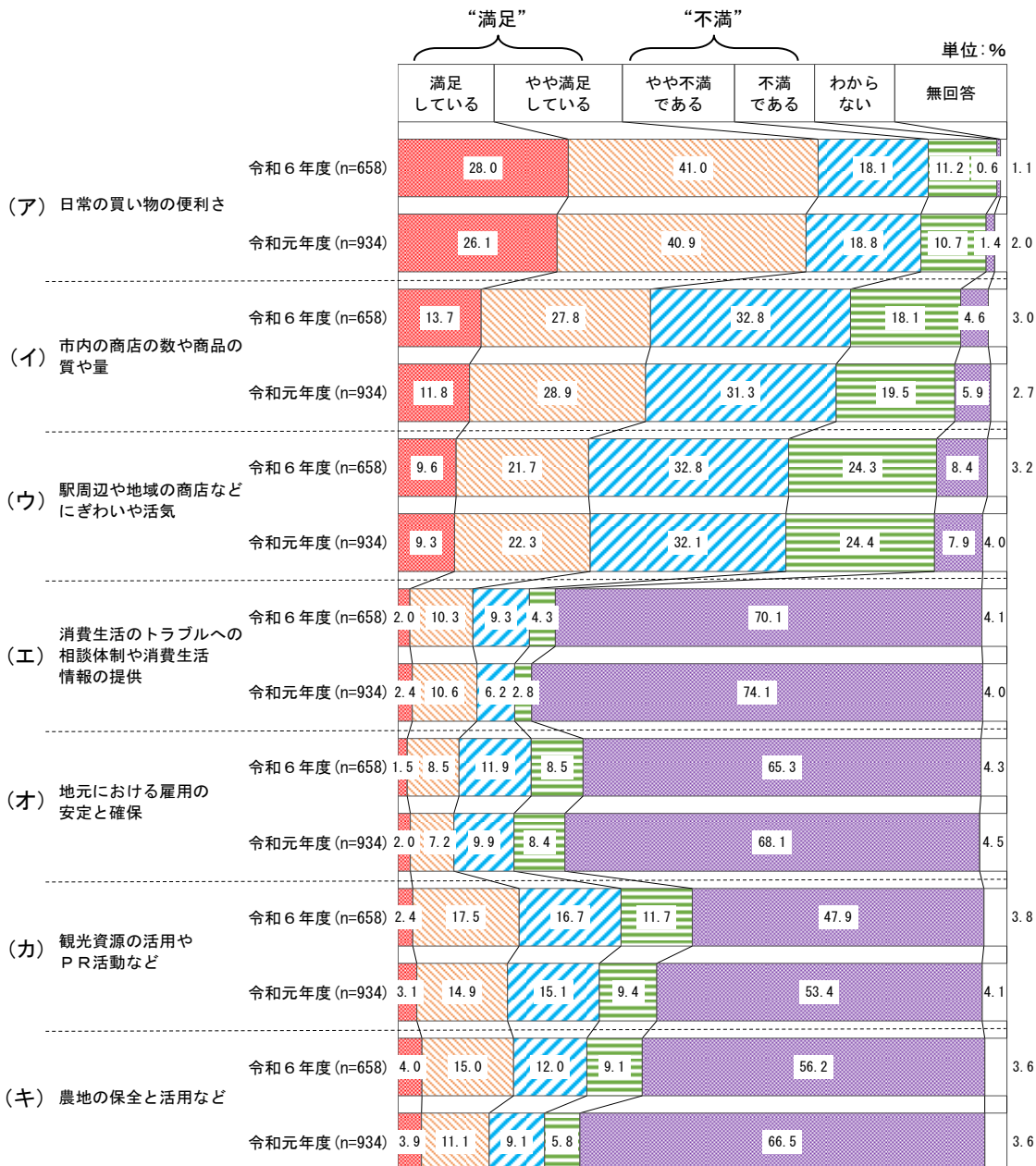
図表 商工業・観光・農林業の満足度



○全体の傾向

（ア）《日常の買い物の便利さ》では、“満足”（「満足している」「やや満足している」の合計）が69.0%、（イ）《市内の商店の数や商品の質や量》では“満足”が41.5%となっています。（ア）《日常の買い物の便利さ》では「満足している」が28.0%であり、他の項目の割合を14ポイント以上上回っています。一方、（イ）《市内の商店の数や商品の質や量》、（ウ）《駅周辺や地域の商店などにぎわいや活気》では“不満”（「やや不満である」「不満である」の合計）が5割台となっています。（ア）《日常の買い物の便利さ》を除く各項目とも、“不満”が“満足”を上回っており、（ウ）《駅周辺や地域の商店などにぎわいや活気》では“不満”と“満足”の差が25ポイントとなっています。（エ）《消費生活のトラブルへの相談体制や消費生活情報の提供》、（オ）《地元における雇用の安定と確保》では、「わからない」が6割台半ばから7割を占めています。

図表 商工業・観光・農林業の満足度【経年比較】



○経年比較

令和元年度調査から今回調査にかけて、（キ）《農地の保全と活用など》の“不満”が6ポイント増加しています。

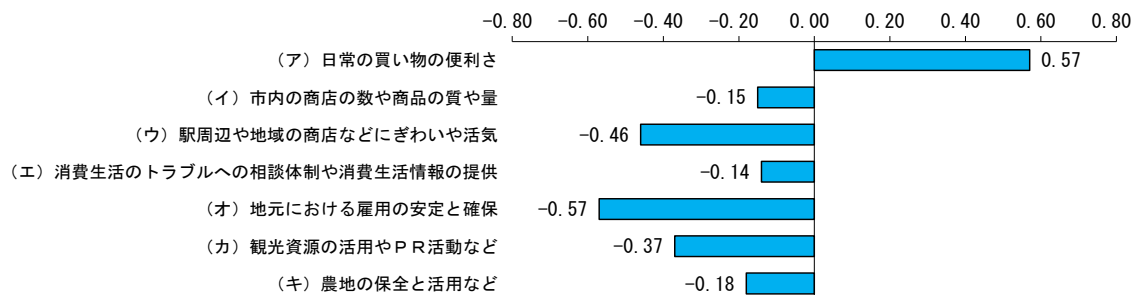
○満足度の加重平均値（得点）の状況

《加重平均値（得点）の算出方法》

（ア）～（キ）の各項目の回答について、「満足している」を＋2点、「やや満足している」を＋1点、「やや不満である」を－1点、「不満である」を－2点として、それぞれの回答を点数に換算します。項目ごとに回答者の点数合計を算出して、その値を「わからない」「無回答」を除いた回答者数で割ることにより、加重平均値（得点）を算出します。

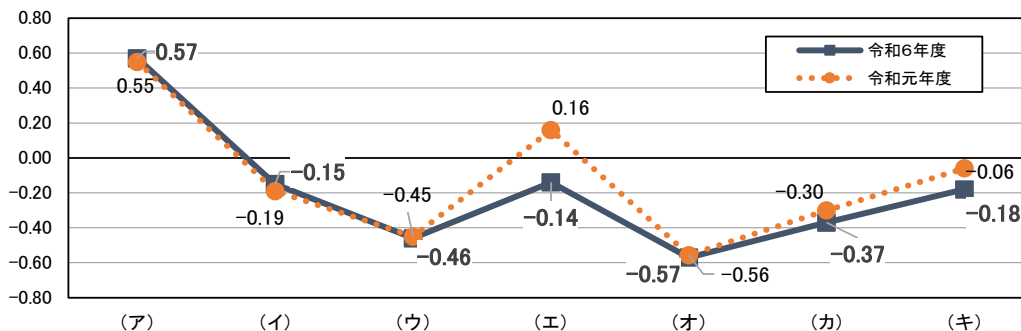
※各項目の加重平均値(得点)は、＋2点から－2点の間に分布します。満足度が高いものは＋側に、満足度が低いものは－側に分布されます。

図表 商工業・観光・農林業の満足度の加重平均値（得点）



（ア）《日常の買い物の便利さ》を除く各項目とも得点がマイナスの値となっており、（オ）《地元における雇用の安定と確保》では-0.57、（ウ）《駅周辺や地域の商店などにぎわいや活気》では-0.46、（カ）《観光資源の活用やPR活動など》では-0.37となっています。

図表 商工業・観光・農林業の満足度の加重平均値（得点）【経年比較】



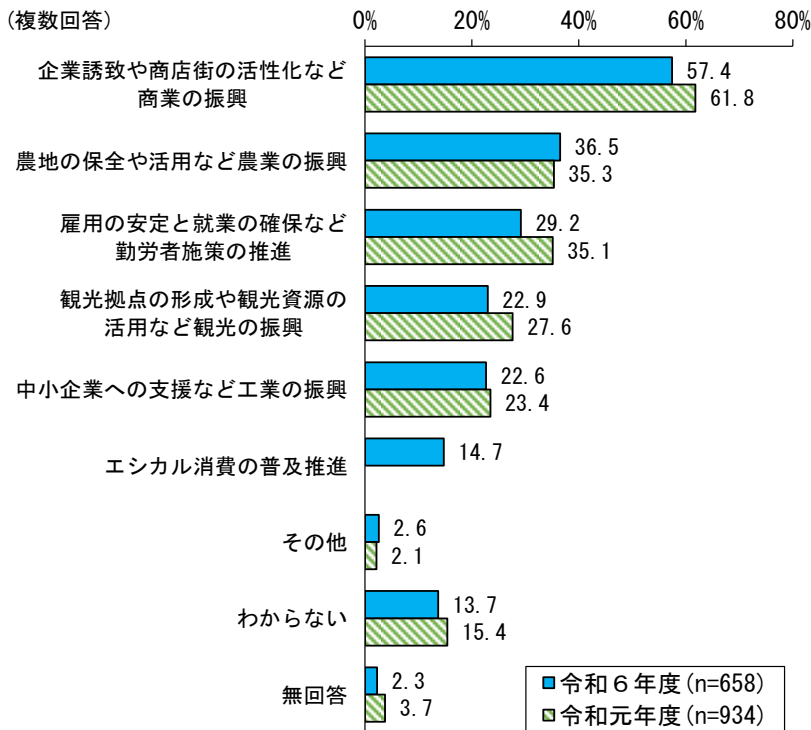
（ア）《日常の買い物の便利さ》、（イ）《市内の商店の数や商品の質や量》では今回調査の得点が令和元年度調査の値を上回っています。一方、（ウ）～（キ）では、今回調査の得点が令和元年度調査の値を下回っています。

〔抜粋：第3章 調査結果 問20 商工業・観光・農業について力を入れるべき施策（P84～87）〕

問20 商工業・観光・農業について力を入れるべき施策

商工業・観光・農業の分野について、今後、どのような施策に力を入れたほうがよいと思いますか。
（○は3つまで）

図表 商工業・観光・農業について力を入れるべき施策【全体、経年比較】



※令和元年度調査では「エシカル消費（※30）の普及促進」なし。

○全体の傾向

「企業誘致や商店街の活性化など商業の振興」が57.4%で最も多く、「農地の保全や活用など農業の振興」（36.5%）、「雇用の安定と就業の確保など勤労者施策の推進」（29.2%）、「観光拠点の形成や観光資源の活用など観光の振興」（22.9%）が続きます。

○経年比較

今回調査で選択肢の追加があったため、経年比較の実施に当たっては留意が必要ですが、上位4項目については今回調査・令和元年度調査とも同様の順位となっています。令和元年度調査から今回調査にかけて、「雇用の安定と就業の確保など勤労者施策の推進」が5ポイント減少しています。

商工業・観光・農業について力を入れるべき施策【全体、男女別】

	企業誘致や商店街の活性化など商業の振興	雇用の安定と就業の確保など勤労者施策の推進	農地の保全や活用など農業の振興	中小企業への支援など工業の振興	観光拠点の形成や観光資源の活用など観光の振興	エンカール消費の普及推進	その他	わからない	無回答
全体 (n=658)	57.4	29.2	36.5	22.6	22.9	14.7	2.6	13.7	2.3
女性 (n=350)	59.1	29.1	35.7	21.4	18.9	14.0	2.6	16.0	1.7
男性 (n=294)	57.5	29.9	37.8	24.5	28.6	15.3	2.7	10.2	2.0

○男女別の傾向

男女とも「企業誘致や商店街の活性化など商業の振興」が最も多く、「農地の保全や活用など農業の振興」が続きます。男性の「観光拠点の形成や観光資源の活用など観光の振興」は女性を9ポイント上回っています。

商工業・観光・農業について力を入れるべき施策【全体、年代別】

	企業誘致や商店街の活性化など商業の振興	雇用の安定と就業の確保など勤労者施策の推進	農地の保全や活用など農業の振興	中小企業への支援など工業の振興	観光拠点の形成や観光資源の活用など観光の振興	エンカール消費の普及推進	その他	わからない	無回答
全体 (n=658)	57.4	29.2	36.5	22.6	22.9	14.7	2.6	13.7	2.3
16～29歳 (n=59)	55.9	18.6	30.5	25.4	25.4	11.9	1.7	20.3	-
30～39歳 (n=78)	48.7	25.6	38.5	26.9	20.5	12.8	3.8	15.4	2.6
40～49歳 (n=111)	66.7	33.3	34.2	23.4	22.5	16.2	4.5	13.5	0.9
50～59歳 (n=136)	61.0	27.9	41.9	23.5	25.0	17.6	2.2	9.6	0.7
60～69歳 (n=95)	61.1	34.7	41.1	18.9	23.2	14.7	4.2	6.3	2.1
70歳以上 (n=171)	53.8	30.4	32.7	20.5	22.8	13.5	0.6	17.5	3.5

○年代別の傾向

各年代とも「企業誘致や商店街の活性化など商業の振興」が最も多く、「農地の保全や活用など農業の振興」が続きます。29歳以下では「わからない」が2割に達しています。

商工業・観光・農業について力を入れるべき施策【全体、地区別】

	企業誘致や商店街の活性化など商業の振興	雇用の安定と就業の確保など勤労者施策の推進	農地の保全や活用など農業の振興	中小企業への支援など工業の振興	観光拠点の形成や観光資源の活用など観光の振興	エシカル消費の普及推進	その他	わからない	無回答
全体 (n=658)	57.4	29.2	36.5	22.6	22.9	14.7	2.6	13.7	2.3
矢野口 (n=140)	56.4	28.6	33.6	23.6	34.3	10.7	2.1	12.9	1.4
東長沼 (n=95)	56.8	26.3	40.0	22.1	15.8	13.7	3.2	18.9	2.1
大丸 (n=73)	60.3	30.1	42.5	20.5	20.5	12.3	1.4	13.7	4.1
百村 (n=41)	51.2	34.1	39.0	24.4	24.4	12.2	7.3	14.6	2.4
坂浜 (n=21)	42.9	28.6	42.9	33.3	19.0	4.8	-	23.8	-
平尾 (n=74)	58.1	24.3	29.7	23.0	17.6	18.9	4.1	16.2	2.7
押立 (n=30)	56.7	53.3	43.3	30.0	23.3	10.0	-	6.7	-
向陽台 (n=67)	67.2	26.9	40.3	25.4	16.4	14.9	-	9.0	3.0
長峰 (n=23)	52.2	39.1	21.7	30.4	39.1	26.1	-	8.7	-
若葉台 (n=85)	63.5	27.1	34.1	12.9	22.4	22.4	3.5	10.6	-

○地区別の傾向

坂浜を除く各地区とも「企業誘致や商店街の活性化など商業の振興」が最も多く、東長沼・大丸・百村・平尾・向陽台・若葉台では「農地の保全や活用など農業の振興」が、矢野口では「観光拠点の形成や観光資源の活用など観光の振興」が、押立では「雇用の安定と就業の確保など勤労者施策の推進」が続きます。長峰では「雇用の安定と就業の確保など勤労者施策の推進」「観光拠点の形成や観光資源の活用など観光の振興」がそれぞれ39.1%で続きます。

坂浜では、「企業誘致や商店街の活性化など商業の振興」「農地の保全や活用など農業の振興」が42.9%でともに多くなっています。

このほか、坂浜・長峰・押立では「中小企業への支援など工業の振興」が3割台、長峰と若葉台では「エシカル消費の普及推進」が2割台となっています。

【選択肢「その他」の自由記載内容】

- ・地元企業の紹介やイベント。（女性・60歳代）
- ・野菜プラント工場企業誘致。（男性・30歳代）
- ・仕事帰りに食事したい店がない。（女性・40歳代）
- ・大型商業施設誘致。（男性・30歳代）
- ・稲城のイメージが地味すぎるので、おしゃれな飲食の店舗を駅周辺に誘導してほしい。調布や多摩センターで
外食をすることが多い。（女性・60歳代）
- ・薬局やコンビニばかりが増えてしまうのを 市の方でバランスを考えた誘致をお願いしたい。
（女性・50歳代）
- ・とにかく今は市内で完結するのが困難なほど商店が減っています。そこをどうにかすることは急務。また稲城
は昔から娯楽が少なく、その点で住みにくいとも言えるでしょう。娯楽とか稲城駅前のカラオケと南多摩の温
泉くらいじゃないでしょうか。（男性・30歳代）
- ・他の街からも訪れるようなモールなど（女性・29歳以下）
- ・梨などの果実農家の継承を支援してほしい（男性・40歳代）
- ※ほか1件
- ・稲城梨園が減って来ている気がして残念（男性・50歳代）
- ・循環型農業への転換。（男性・50歳代）
- ・稲城の自然を生かした農業振興。（女性・40歳代）
- ・地産地消の取り組み推進。（男性・60歳代）
- ・路線バス、iバスの路線、本数の充実。免許返納したシェアが足（移動手段）に困らないような支援、サービ
ス（坂道が多いので、路線・iバスが増えると便利）。（女性・40歳代）
- ・歩行者、自転車、自動車の分離促進（男性・40歳代）
- ・この3つの分野はそれぞれ配慮が別であり、このような形式での質問には答えられない。（女性・60歳代）

（出典：市民意識調査 結果報告書 令和7年3月発行）

資料4 「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査

調査概要

調査地域	稲城市全域
調査期間	令和7年3月1日から31日
調査対象	市内在住・在勤・在学の方
回答方法	LoGoフォーム
回答数	371人

Q1 年齢

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
人数（人）	4	16	58	94	80	82	37
割合	1.1%	4.3%	15.6%	25.3%	21.6%	22.1%	10.0%

Q2 職業

	会社員・ 公務員	サービス業	パート・ア ルバイト	主婦・主夫	農業	学生	無職
人数（人）	195	18	74	36	3	5	40
割合	52.6%	4.9%	19.9%	9.7%	0.8%	1.3%	10.8%

Q3 世帯人数

	一人暮らし	2人	3人	4人	5人以上
人数（人）	31	104	101	100	35
割合	8.4%	28.0%	27.2%	27.0%	9.4%

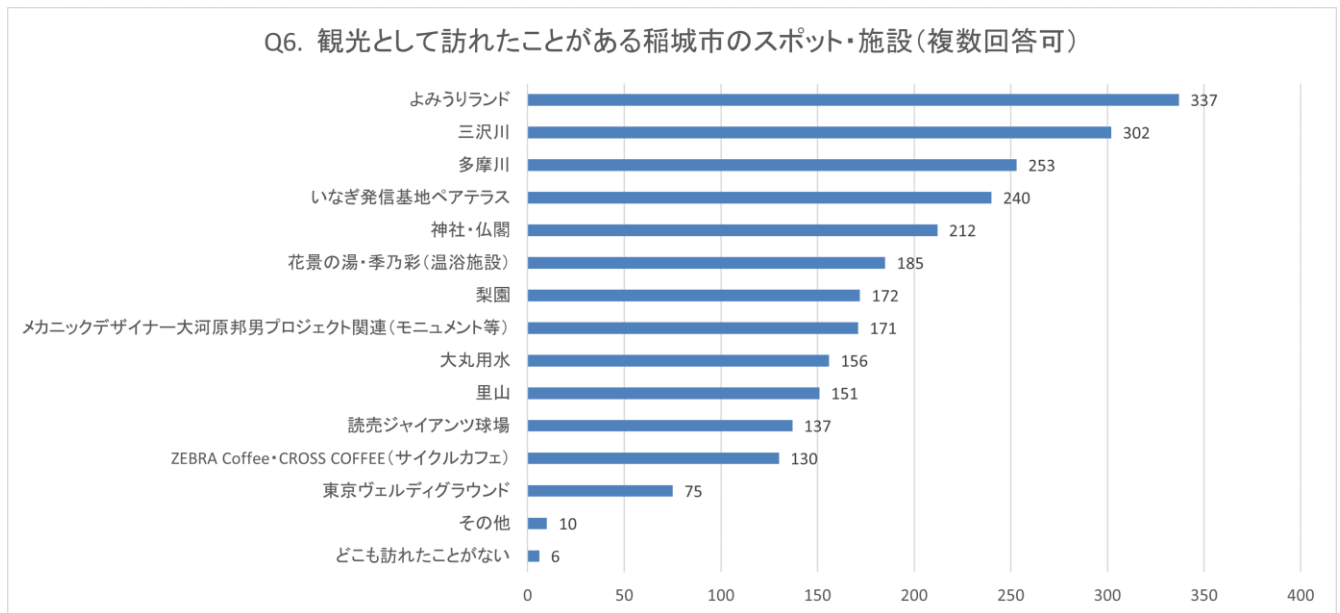
Q4 出身地

	稲城市	稲城市外
人数（人）	63	308
割合	17.0%	83.0%

Q5 在住・在勤・在学年数

	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10～19年	20年以上
人数（人）	3	16	26	61	104	161
割合	0.8%	4.3%	7.0%	16.4%	28.0%	43.4%

Q6 観光として訪れたことがあるスポット・施設



(その他)

- ・城山公園や中央公園など緑豊かで整備された公園
- ・よこやまの道(鎌倉古道)
- ・図書館裏から総合体育館までの散策コース
- ・ジャイアンツタウンスタジアム
- ・梨園里山用水路多摩川神社仏閣は、観光ではなく暮らしている中で普通に通っています
- ・タワー、公園、プール
- ・梅月
- ・城跡、若葉台公園、城山公園
- ・大塚牧場

Q7 Q6「どこも訪れたことがない」最も当てはまる理由

	観光スポット・施設 という認識がない	関心がない	機会がなかった
回答件数	4	1	1

Q6およびQ7では、観光として訪れたことがある稲城市内のスポット・施設(複数回答可)について調査しました。総回答件数は2,537件となっており、回答者数371人のうち過半数以上が複数箇所を訪れています。

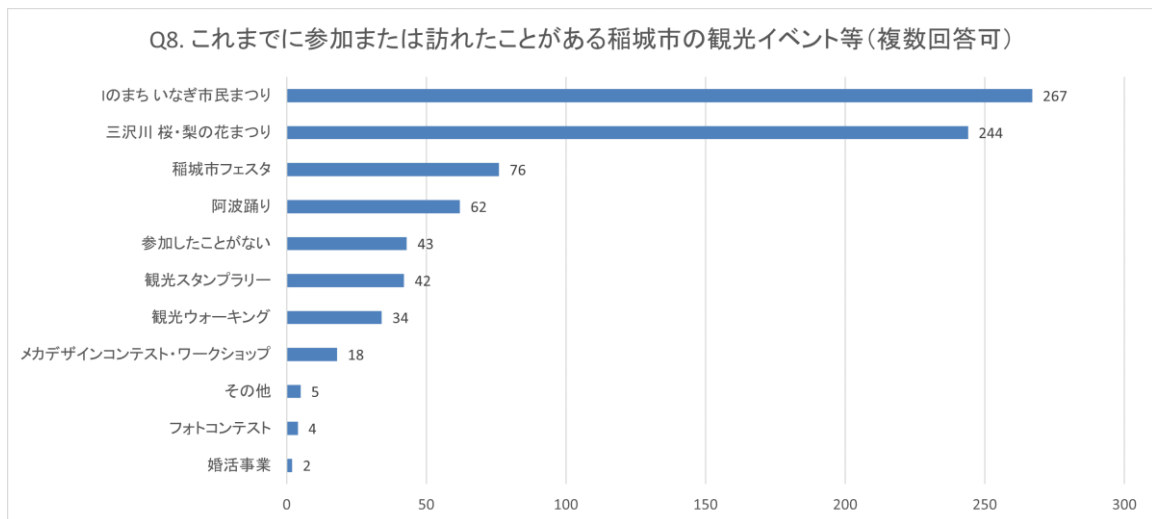
その中で最も多かった施設は「よみうりランド」(337件)となっており、回答者371人のうち90%以上が訪れています。次いで「三沢川」(302件)の81.4%、「多摩川」(253件)の68.2%と続き、自然を感じられるスポットも人気であることが伺えます。

他には、「メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクト関連(モニュメント等)」を訪れたことが

ある人（171件）は全体の46.1%を占めており、アニメ作品の人気の高さが見て取れます。また、「読売ジャイアンツ球場」（137件）や「サイクルカフェ」（130件）等、スポーツに関連した施設も多くの人が訪れています。特に、これら2つのスポットは、市外の観光客も多く訪れていることから、今後の知名度向上が期待されます。

その反面、「どこも訪れたことがない」回答者は6人おり、その理由として、4件は観光スポット・施設という認識がないというものでした。

Q8 参加または訪れたことがある市の観光イベント等（複数回答可）



（その他）

- ・カレースタンプラリー
- ・東京ヴェルディ応援パーク
- ・穴澤天神大祭
- ・メカデザイナーズサミット
- ・稲城ゴルフ協会のゴルフ大会

Q9 Q8「参加したことがない」最も当てはまる理由

	知らなかった	関心がない	機会がなかった	その他
回答件数	7	18	10	8

（その他）

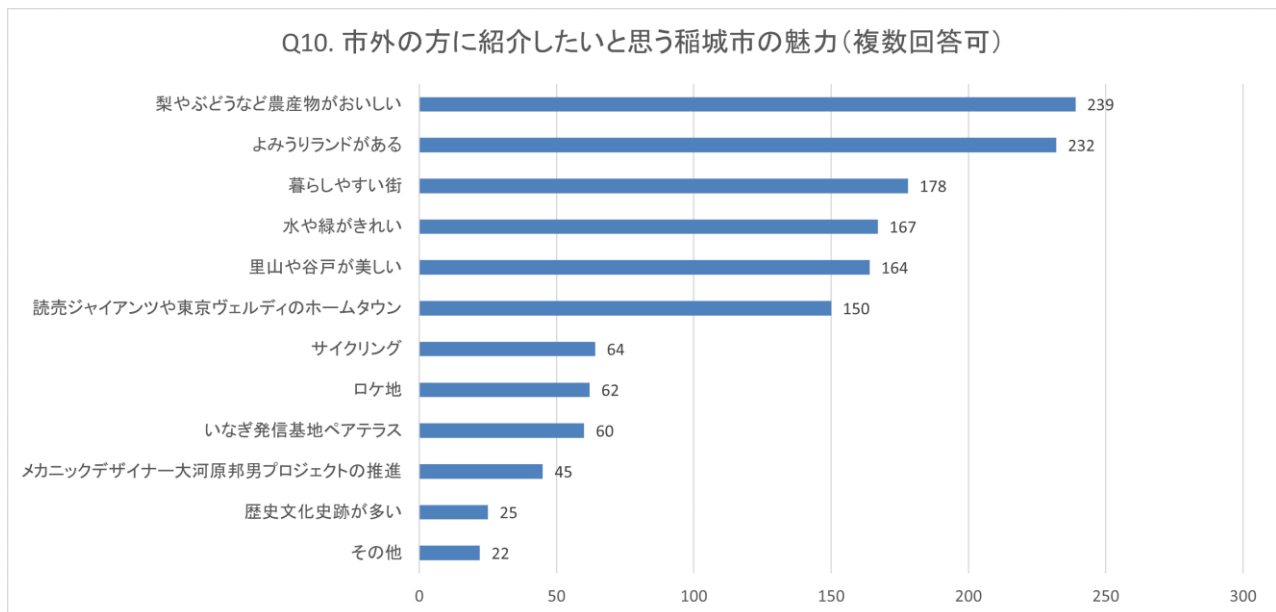
- ・車でのアクセスが困難 子連れには厳しい
- ・興味を引く内容ではない
- ・魅力的でない
- ・自然豊かなのは良いが、洗練されていなく、地味、出かけたという気持ちまでならない
- ・日程が合わないことが多い

- ・土日に仕事があるから
- ・時間と曜日が合わず
- ・平尾四丁目に住んでいて、どこも遠いし交通もバスだけなのでいけない

Q8およびQ9では、参加または訪れたことがある市の観光イベント等（複数回答可）について調査しました。市内で開催されるイベントの中では、「Iのまち いなぎ市民まつり」〔267件（72.0%）〕と、「三沢川 桜・梨の花まつり」〔244件（65.8%）〕の参加率が、特に高いことが明らかになりました。

参加したことがない主な理由として、「関心がない」（18件）が最も多く、「機会がなかった」（10件）がそれに続いています。また、「その他」の意見では、「車でのアクセスが困難 子連れには厳しい」や「どこも遠いし交通もバスなのでいけない」といった、市内の交通アクセスの悪さを指摘する声も散見されました。

Q10 市外の方に紹介したいと思う稲城市の魅力（複数回答可）



（その他）

○市内の自然や史跡、行事に関するもの

- ・三沢川や多摩川の桜
- ・三沢川沿いの桜がキレイ
- ・自然環境が豊か（見た目だけではなく質も高い）
- ・多摩弾薬庫跡地の歴史的遺産と自然環境
- ・大丸用水散策
- ・昔から続く正月行事

○景観や街並み、地域に関するもの

- ・治安が良い
- ・人が優しい

- ・広い公園
- ・夜景が綺麗だと思う
- ・若い世代が多い（都内でも市民の平均年齢が低い、年少人口の割合が高い）
- ・現在も区画整理事業が複数進んでいる（住宅地の地価公示価格が複数年連続で上昇し、上昇率も多摩地域の中で高い）
- ・刑法犯認知件数が低い
- ・夜景がきれい
- ・南山からの眺めが良い
- ・多摩ニュータウンの美しい街並み
- ・都内で唯一単独で消防本部を有している

○交通アクセスに関するもの

- ・（転入に際しての魅力は）2路線6駅+高速道路乗り口があること
- ・車、電車どちらでも便利。首都高あり、南武線、西武多摩川線も近い。車があれば買い物便利。中央高速、首都高乗り易い
- ・南武線と京王線、中央道と東名へのアクセスなどの立地
- ・都心に近い

○スポーツ施設や飲食に関するもの

- ・ゴルフ場
- ・美味しい飲食店がある

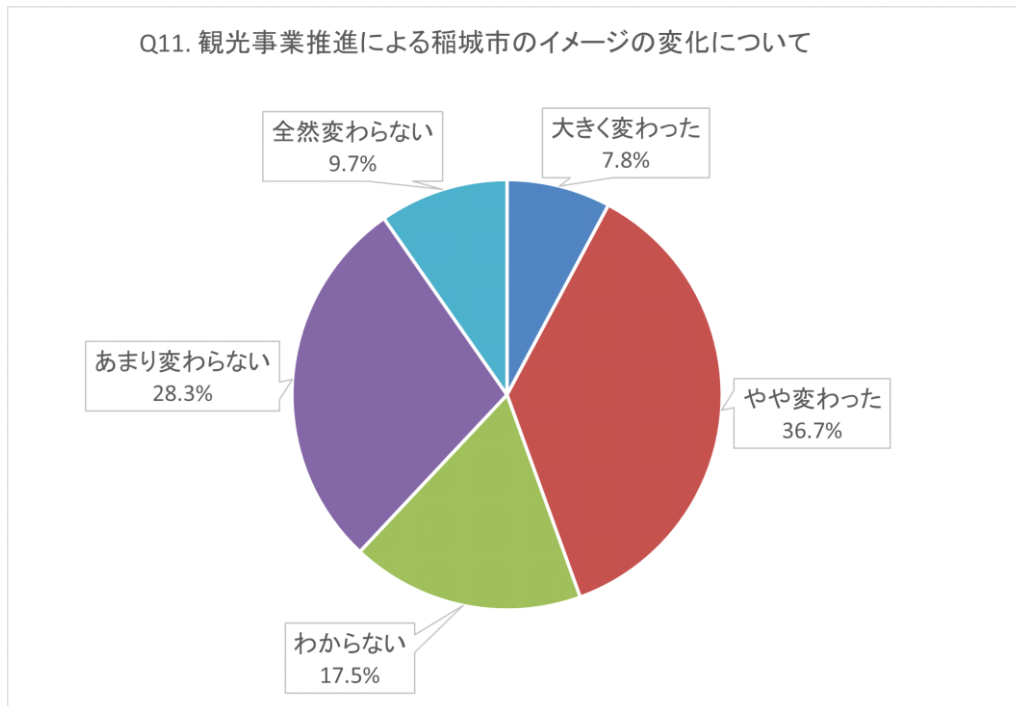
○ネガティブなイメージのもの

- ・魅力がある街とは思えない。みんなが楽しめる街になっていない。商業施設が発展しない街は魅力がない。寝るだけの街では活気がない街になってしまう。バス路線が中途半端。医療機関が偏在している
- ・特に紹介できる魅力はない
- ・特に無し。市外にアピールするのではなく、市民にしっかりと暮らしやすさを実感する街づくりをして欲しい
- ・親族へ贈答用に送った梨が大きいばかりで硬くて美味しくなかったのが残念
- ・よみうりランドも、小田急線側からだと不便

Q10 では、市外の方に紹介したいと思う市の魅力について調査しました。「梨やぶどうなど農産物がおいしい」〔239件(64.4%)〕が最も多く、「よみうりランドがある」〔232件(62.5%)〕がそれに続いています。また、「暮らしやすいまち」〔178件(48.0%)〕、「水や緑がきれい」〔167件(45.0%)〕、「里山や谷戸が美しい」〔164件(44.2%)〕といった声も多くみられ、稲城市の自然や住みよい環境が魅力として認知されていることが伺えます。加えて、「読売ジャイアンツや東京ヴェルディのホームタウン」〔150件(40.4%)〕も多くの回答があり、有名なチームのホームタウンであることは、シビックプライドに繋がると考えられます。また、「その他」の意見では、市の景観や街並み、自然環境について等、ポジティブなものがある一方で、魅力がないなどのネガティブな意見も見られました。

Q11 観光事業推進による稲城市のイメージの変化について

	大きく変わった	やや変わった	わからない	あまり変わらない	全然変わらない
人数(人)	29	136	65	105	36
割合	7.8%	36.7%	17.5%	28.3%	9.7%



Q11では、観光推進事業に伴う稲城市のイメージの変化について調査しました。「大きく変わった」〔29人(7.8%)〕、「やや変わった」〔136人(36.7%)〕と変化を感じている人は全体の44.5%を占めていますが、「あまり変わらない」〔105人(28.3%)〕、「全然変わらない」〔36人(9.7%)〕と、変化を感じていない人は、全体の38.0%でした。

Q12 Q11についてどのように変わったと思うか

	メディア等で話題に上がる事が多くなった	市の知名度・ブランド力が上がった	まちに活気が出た	その他
回答件数	75	49	34	7

(その他)

- まだまだ、メディアに来てもらって宣伝してほしい
- 稲城を目的地に来ている人を見かけるようになった
- 緑がなくなりのにびりした雰囲気が消えた
- 手の付けられてない自然が身近にある稲城市という魅力があったのに、山や谷を切り崩してまで観光地化したんだなというマイナスなイメージ
- 緑がなくなった

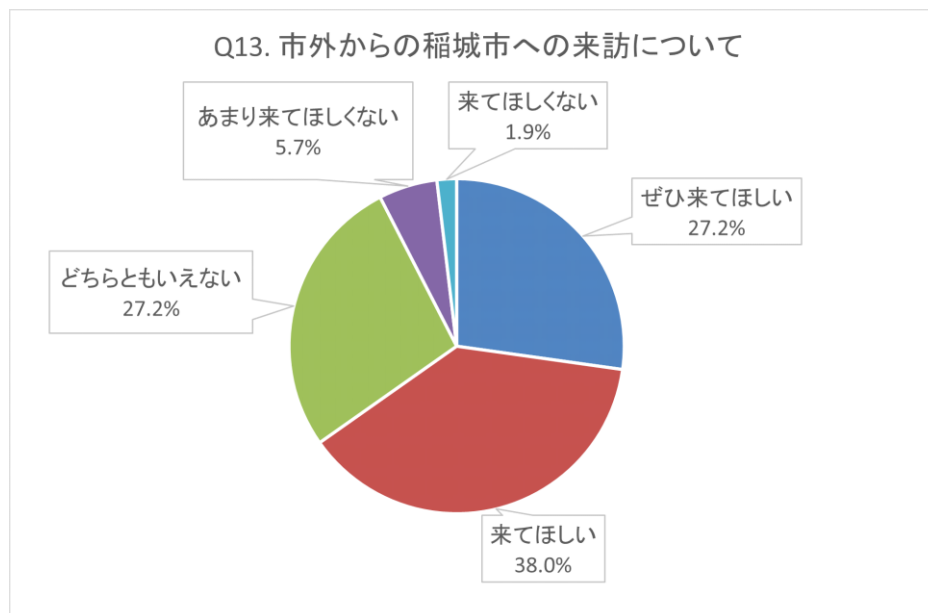
- ・稲城に住み始めて50年になりますが、当初は南山が里山としての機能をはたしていました。ところが、南山の開発が進み里山がなくなり残念でしかたありません。それに伴い向陽台方面の開発が進みましたが、矢野口、稲城長沼方面の開発が遅れて不便を感じてる事も多々あります。梨やブドウ畑も後継者がなく相続の関係で畑を手放し宅地化が進み稲城の名産梨、ぶどうが稲城の特産ではなくなる日も遠くないと危惧しております
- ・以前は緑豊かな南山がありとても良かったが、開発が進み里山がなくなったことがとても残念。また、梨、ぶどう畑も後継者がなく相続の関係で畑を維持できず宅地化が進み今後の梨、ぶどうが稲城の特産にならなくなると心配してます

Q12では、Q11についてどのように変化を感じているかを調査しました。総回答数165件のうち、「メディア等で話題に上がることが多くなった」(75件)、「市の知名度・ブランド力が上がった」(49件)、「まちに活気が出た」(34件)と、変化を肯定的に感じている人が半数以上を占めています。

しかしながら、「その他」の中には、肯定的な評価よりも「緑がなくなりのにびりした雰囲気が消えた」や「手の付けられてない自然が身近にある稲城市という魅力があったのに、山や谷を切り崩してまで観光地化したいんだなというマイナスなイメージ」など、自然が失われつつある現況に対する否定的な評価も見られました。

Q13 市外からの稲城市への来訪について

	ぜひ来てほしい	来てほしい	どちらともいえない	あまり来てほしくない	来てほしくない
人数(人)	101	141	101	21	7
割合	27.2%	38.0%	27.2%	5.7%	1.9%



Q13では、市外からの稲城市への来訪について、どのような意見を持っているかを調査しました。

「ぜひ来てほしい」〔101人（27.2%）〕、「来てほしい」〔141人（38.0%）〕と回答した人は合わせて65%以上という結果となり、稲城市への来訪客に対して肯定的な意見を持っている人が、過半数以上を占めていることが分かります。

一方で「来てほしくない」〔7人（1.9%）〕、「あまり来てほしくない」〔21人（5.7%）〕と回答した人は合わせて7.6%となり、否定的な意見を持っている人も一定数いることが明らかになりました。なお、「どちらでもない」（101人）と回答した人は27.2%となっています。

Q14 来訪してほしい理由

	まちの賑わいが創出される	地域での消費活動に繋がる	地域資源を多くの人に知ってもらえる	人が訪れることで景観、街並みが保たれる	その他
回答件数	82	77	44	33	6

（その他）

- ・安定した市外から稲城市へ居住する潜在家族の誘致、住民税／固定資産税以外の稲城市財源確保に向けた人とお金のInbound化
- ・稲城市の認知度が上がる
- ・知名度の割に、アクセスが良いと感じているから
- ・定住化や新陳代謝が進んでほしいから
- ・緑の多いところをウォーキング等癒されてほしい
- ・何となく盛り上がる気がしてるが、具体的に稲城市にとってどんなメリットがあるのかは正確に把握はしたいなど思っている

Q14では、来訪してほしい理由を調査しました。「まちの賑わいが創出される」という意見が82件と最も多く、次いで「地域の消費活動に繋がる」という意見が77件ありました。「その他」の意見では、「稲城市の認知度が上がる」など、市の知名度向上を期待する声もありました。

Q15 来訪してほしくない理由

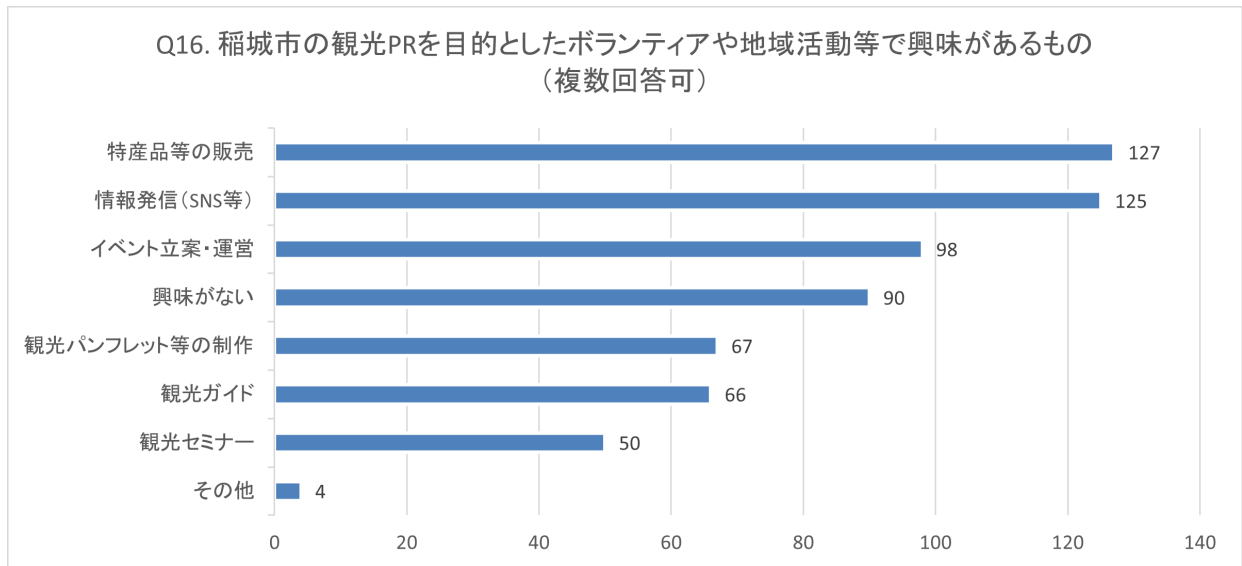
	公共交通機関、道路、店舗などが混雑する	外部から人が多く訪れることで治安が悪化する	訪れる人のマナー違反（ゴミのポイ捨て、騒音など）	生活環境が悪化する	その他
回答件数	9	8	5	4	2

（その他）

- ・飲食店があまりにも少なく来訪者が困ることが恥ずかしいので、来ないでほしい
- ・静かな暮らしが無くなってしまう

Q15では、来訪してほしくない理由を調査しました。「公共交通機関、道路、店舗などが混雑する」（9件）が最も多く、その他の回答でも治安の悪化や来訪者のマナー違反、生活環境の悪化など、自身の生活圏に対する悪影響を懸念する意見が見られました。

Q16 稲城市の観光PRを目的としたボランティアや地域活動等で興味があるもの（複数回答可）



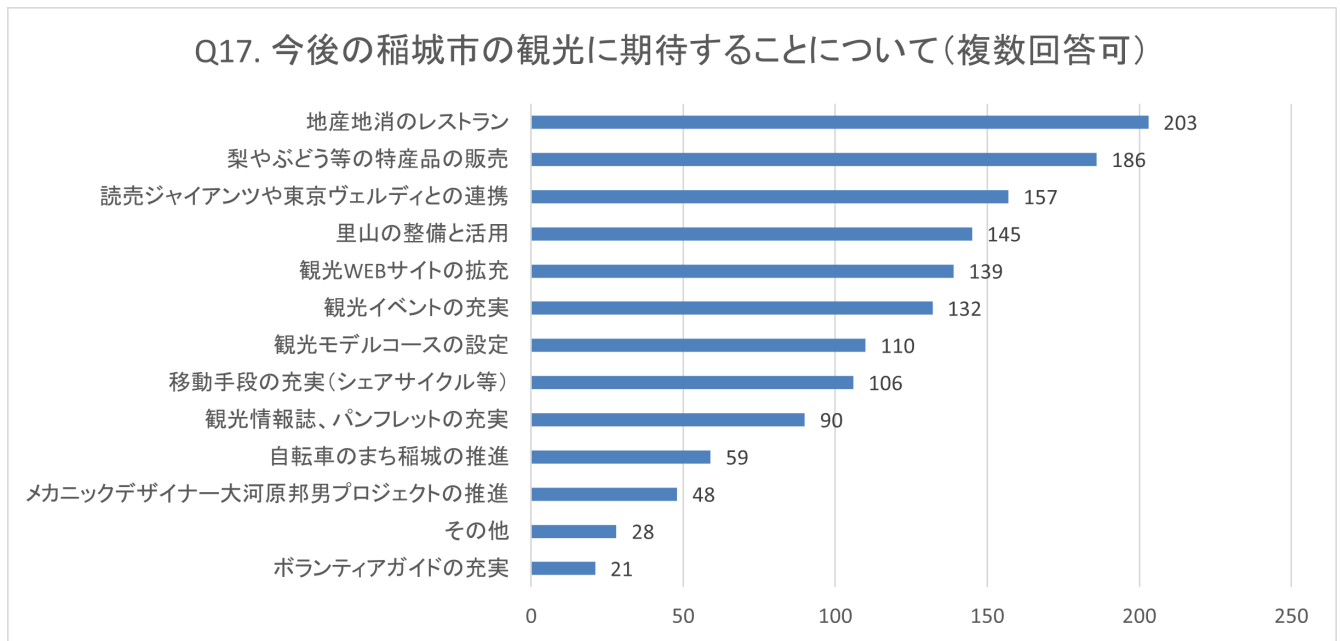
(その他)

- Webサイト制作
- もう年のためスミマセン
- 観光地として魅力を感じて住んでいる市民は少数派だと思います。ベッドタウン、都心への通勤を考慮して選択したのでは。従前の感覚に捕らわれない。子孫の代まで安全で安心して暮らせる、公共サービスの提供を、経済面含めて継続できる実感できる政策力を付けて欲しい
- 美化活動

Q16では、稲城市の観光PRを目的としたボランティアや、地域活動で興味があるものについて調査しました。その中では「特産品の販売」〔127件(34.2%)〕と「情報発信(SNS等)」〔125件(33.7%)〕が特に多く、「イベント立案・運営」〔98件(26.4%)〕が続いています。

一方、「興味がない」〔90件(24.3%)〕と回答した人も一定数いましたが、回答者のうち過半数は観光PRに関するボランティアや地域活動等に、興味を示していることが明らかとなりました。

Q17 今後の稲城市の観光に期待することについて（複数回答可）



（その他）

○飲食店や観光資源の充実に関するもの

- ・観光中、観光後などに一息つけるカフェや飲食店の充実
- ・よみうりランドに変わる遊べるスポット。自然を活かしたキャンプ場やアスレチックジム、サイクリングコース
- ・子供（未就学児）が楽しめるイベント
- ・カフェを増やす
- ・食事のできる場所
- ・新たな特産品の開発（例えば、ブランド米など）
- ・魅力的な施設やイベント
- ・集客力のあるショッピングモールの建設やおしゃれなカフェやファーストフード店などをもっと誘致して欲しい。飲食店や日用品の買い物をするところが少なすぎて、結果他の市に行かざるを得ない

○市のPRに関するもの

- ・ModuleAppsなどによる位置情報で情報が得られるアプリを用いた観光案内。アプリを通じて見られる仕組みであるため、看板などを作らず、設置場所を必要とせず、更新や修正も容易。市内飲食店と連携すれば、タイムサービスやキャンペーンなども周知し易くなる
- ・SNSに取り上げられること
- ・観光やお店の情報を発信している民間のWEBやSNSがあるので、そちらへの情報提供を強化してはどうでしょうか？市が直接発信するより、自由な記載で読みやすく感じます。（市の発信は市の趣旨にとらわれるので読みにくいと感ずることがあります）
- ・ジャイアンツや商業との連携も必要だが、稲城市自体の取組みをアピール出来るように頑張ってもらいたい
- ・ロケ地としてのPR
- ・SNS
- ・「聖地巡礼」の対象になる

○まちづくりに関するもの

- ・人が集まり楽しく過ごせるまちづくりが必須、今は寝るだけの街、皆んなで楽しめる街になっていない、人に紹介してもつまらない街だねと言われるだけ
- ・去年は草刈りの回数が少なく（場所によっては1回もない）、市外の方に来訪してほしいと思える景観が保ていなかったため、景観、街並み維持
- ・南山の景色と緑を活かした自然豊かな公園の整備
- ・自然が豊かで住みやすいのが稲城の良さだとおもうので、駐車場が大きい大きな公園や、バスケ、スケボーなど今にあった施設を作ったらいいと思う。テニスコートや少年野球の野球場だけでは限られた人しか使えない。北緑地公園のバスケットコートにはいつも沢山のひとが遊んでいるが一つしかないの小さい子ども大人もごちゃまぜで可哀想。その横ではテニスコートが沢山有りすぎていく気がする。ソリ広場とか作ってもいいと思う。駐車場も少なすぎて土日には列ができていくのもどうかと思う

○企業や団体等との連携

- ・よみうりランドとの連携
- ・観光よりも企業の立地を推進してほしい
- ・世界的な自転車競技大会の開催及び誘致、JR南武線高架下などに高機能なレンタルサイクリングブースを設置し、京王電鉄（よみうりランド駅、高尾山口駅など）、多摩市、日野市、八王子市などと連携した「自転車の聖地」というブランドの確立
- ・地元企業の活動取り上げ、住民の地元企業への理解促進。地元愛を持ち、持つ企業への就職、地元企業の拡大、林立。これらを実践するのは、教育だけでなく、観光面でも出来る事があるのでは
- ・JRとの連携
- ・消防団との連携、東京で唯一の単独消防であることの強みを活かし、子供達や親子と消防団のコラボ

○否定的な意見など

- ・観光まちづくりの見直し、できれば廃止
- ・観光に力を入れる必要はない
- ・そもそも観光に期待していないし、するべきではないと考えています
- ・高齢なので、自転車に乗れない

Q17では、今後の稲城市の観光に期待することについて調査しました。最も多い回答は「地産地消のレストラン」〔203件（54.7%）〕で、次いで「梨やぶどう等の特産品の販売」〔186件（50.1%）〕という回答が多い結果でした。また、「読売ジャイアンツや東京ヴェルディとの連携」〔157件（42.3%）〕、「里山の整備と活用」〔145件（39.1%）〕、「観光WEBサイトの拡充」〔139件（37.5%）〕、「観光イベントの充実」〔132件（35.6%）〕といった意見も多く見られました。

「その他」の意見では、大きく分けて「飲食店や観光資源の充実に関するもの」、「市のPRに関するもの」、「まちづくりに関するもの」、「企業や団体等との連携」、「否定的な意見など」の5種類の意見が集まりました。

Q18 稲城市の観光まちづくりについての意見や要望（自由記述）

Q18 では、「稲城市の観光まちづくりについての意見や要望（自由記述）」を募りました。全回答者数371人のうち、回答件数は198件であり、半数以上の回答がありました。回答は大きく分けて、次の16種類に分類することができました。

- ①観光資源や飲食店等の充実
- ②公園や公共施設の整備・拡充
- ③自転車のまち稲城に関するもの
- ④まちづくりに関するもの
- ⑤自然や農業、景観に関するもの
- ⑥イベントに関するもの
- ⑦メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトに関するもの
- ⑧交通アクセスの改善
- ⑨ホームタウンに関するもの
- ⑩観光PRに関するもの
- ⑪治安や犯罪防止に関するもの
- ⑫企業や他団体等との連携
- ⑬商店街振興
- ⑭歴史文化に関するもの
- ⑮ロケーションサービスに関するもの
- ⑯その他

分類番号	回答
①	人が賑わう街には、ショッピングセンターがあったり、飲食店・カフェなどが充実している印象があります。稲城市は、緑豊かで市出身、在住の私としては、そういったところはとても大好きですが、買い物は市外に出る必要があったり、飲食店がつぶれてしまって外食がしにくくなっていく点は悲しいです。カフェや飲食店、ショッピングセンターなどがもっと充実すると観光に来た人も市内に留まってくれる可能性も高くなりますし、市民ももっと外に出て地域経済の活性化にも繋がると思います。南山やシャイアンツタウン周辺だけでなく、多摩ニュータウン地域は景色もとってもきれいなのでこちらの方にも飲食店等の誘致をぜひお願いします。
①	地元の野菜が買える道の駅的なのがない。JAは駅から遠いし、土曜も午前だけなので、他にありといい。
①	レストラン・食事処・カフェ等が増えて欲しい。木々に囲まれた小さな画廊(絵や陶芸品や手芸品などを展示販売)付きの、落ち着いたカフェがあると文化の香りがする町になると思う。
①	若葉台駅の店舗内容が微妙過ぎる。まだ稲城駅の方が断然良い。 なぜ、駅前にパン屋さんやファーストフード店、ドトール・スタバ(ちょっとしたカフェ)などがないのか、無駄に電気屋・薬屋が多い。 休日なのにガラガラの電気屋(コジマ・ノジマ)・・・ほんとに、無駄です。 いい街なのに住んでみると残念。ソコラのユニクロもなくなり、かなり残念。 若葉台にユニクロや無印ができると若年性世代にも良いと思う。
①	昔に色々な地域で流行った街バルの開催 その前に居酒屋、カフェ等の拡充が不可欠
①	飲食店が少ないのが観光において難点だと感じるので誘致をしてほしいです。

分類番号	回答
①	お店が少なすぎます。ガンダム観に来て、ご飯食べるところオススメできるところほとんどない。お土産買うにも、ペアテラスだけ。空き地はマンションだけ増えて、なんの魅力もない。観光客呼びたいなら、お金使いたくなるお店なども増やさないと。呼ぶ意味ないと思います。
①	稲城長沼駅付近で昼食を取れる店が少ない。観光に来てる人はいるのに、もったいないと思う。
①	飲食店が少なすぎるので増やした方がよい。観光で来ていただいても飲食する場所が足りるのかなと思います。稲城の梨は市民でも昨年は買いづらかったです。いつこの直売所が開いてるのかわかりやすくした方がよいのではないのでしょうか。ペアテラスで買えるのはとても良いと思います。
①	そもそも観光資源が乏しい。南山は人口が増えているのに稲城駅は閑散として、店は一向に増えない。
①	駅前に飲食店が少ないのでたくさんあれば良いと思います。
①	南武線沿線には、ショッピングを楽しめるところがないので、是非考えてほしい
①	稲城長沼駅前にコーヒー店などがいないため、立ち寄らないのでは？ペアテラスだけ。ドトールやペローチェなど、スタバは×。まだ、しっかりと出来ていないからかな？ちょっと、〇〇でお話ししようとはならない。あくまでも希望です。
①	もう少し飲食店の充実を期待します。
①	細かいイベントや観光スポットを作るよりもメインとなる巨大商業施設を誘致した方が来訪者数が増加するのではないのでしょうか。
①	稲城市は田舎、古いイメージがある。せっかくよみうりランドがあるので、若い世代が楽しめるスポットができれば観光客も増えるのではと思う。
①	白雲山鶴林閣の西側に、道の駅のような展望施設を作ってほしいです。ジャイアンツ球場等の利用者に駐車されるのは困るので対策があればいいのですが。道の駅レベルでなくても多摩市の桜ヶ丘公園ゆうひの丘の様な感じでも良いかもしれないです。
①	飲食店が本当に少ないです。これだと、観光に稲城市に来たとしても、費用対効果がかなり低くなるし、観光客にとっても不便でならないと思います。もっと飲食店誘致を進めて頂きたいなと思います。
①	稲城市の知名度が低い、目玉となるような訪問先がない。（よみうりランドが目玉といえるが、単体として有名施設なので稲城市とは直接イメージが結びつかない。）街の玄関口であるはずの各駅の賑わいがいないため、拠点として機能していない。里山は民有地なので、仮に里山を観光資源として有効活用するのであれば行政がしっかり関与すべき。（たとえば土地所有者と話を付けて散歩ルートをきちんと整備するなど。）今のやり方はWebサイトやパンフレットのイメージ先行の感があって具体性がなく、中途半端に見える。
①	飲食店のバリエーションと店舗を増やして欲しいです。
①	観光で訪れてご飯をたべようと思ってご飯屋さんが少ないと感じます。もう少し食事する場所が増えるといいなと思います。
①	最近元梨畑などに家がたたくさん建ちすぎて車も増えて稲城の魅力がなくなっている感じがする。ジャイアンツ球場やよみうりランドがあることは自慢ができるがその他の魅力はあまりないのでもっと稲城の名産を生かした施設をつくるとか稲城をもっともりあげてほしい。
①	道の駅のように野菜果物の直売とか稲城産の物を使ったレストランがあると楽しめる。
①	飲食店をもっと誘致したらいいと思います。見所にそこでしか食べられない梨のソフトクリームとかがあると友人を誘いやすいです。

資料4 「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査

分類番号	回答
①	町の観光資源を活かすには先に集客力のある店が必要と感じる。散歩や祭りに来ても駅にルパしかなく、もっと雰囲気の良いカフェやファーストフードなど京王を連携して作るべき。学生や若い人がわざわざ立ち寄るような駅になれば必然的に観光も増えると感じる。細かいことではあるが、駅前のバスやタクシー乗り場のベンチが安っぽい為、せっかく駅前を綺麗にしても生まれ変わった感じがしない。もっと自然の豊かさをアピールできるような素材や色味のもので統一するべきと思う。稲城市が若い人の活気で溢れる町になって欲しいと願います。
①	ニュータウンやジャイアンツスタジアム建設など、集客が見込めそうなのに、駅前が閑散としていてお店も少なく、地元民としてはさみしい。もっと稲城でお金を落としてもらえよう、地元民も稲城の経済を回せるようにお店の誘致に力を入れるべきだと思います。
①	若葉台駅周辺の商業施設をもっと充実したものにしてほしい。電機屋や、ドラッグストアが多すぎる。カフェは1軒しかなく、ファーストフード店は全くなく何か物足りない。大型ショッピングモールを造れば、稲城市にもっと人が、集まると思う。あれだけ、マンションがあるのにも関わらず、若葉台駅が余り充実してなくて住民として本当に残念でならない。改善を願います。
①	観光化とかかわりがあるかわかりませんが、ジャイアンツスタジアムを作った割に、駅前（特に矢野口エリアとよみうりランド駅周辺）にファミレスや飲食店等がとても少ない。活性化を図るのであれば、飲食店の充実はマストと思う。市内在住民としても、飲食店の充実はお願いしたい。
①	飲食店をもっと増やして欲しい。よみうりランド駅近くが少なすぎるので、よみうりランドで遊んだ後にチェーン店でもなんでも、ご飯食べられる所をもっと増やすと賑わうと思う。
①	駅付近の飲食が弱い印象です。よみうりランド駅と稲城駅はGタウンも完成し、帰る前にさらに落としてもらえるようなポテンシャルもあると思うので開発を期待したいです。スッと電車でお見送りしてしまうのは勿体無い。
①	稲城市の中心になる駅前（稲城駅と稲城長沼駅）の周辺が寂しい。稲城駅はかつて書店があり、その後100円ショップになったが今は閉店した。居酒屋や飲食店も乏しい。稲城長沼も商店街に活気がなく寂しく感じられる。この二つの駅（特に長沼）に活気が出るともっと街も賑わい観光にもプラスになると個人的には思う。なお稲城長沼駅の駅員さん達はダンスで活躍してください有難く感じています。
①③⑦	稲城長沼のガンダムなど、外部への見せ方が非常に勿体ない。 新設中の公園などのネットの高さなども中途半端。 多摩川の桜やシクロクロスをもっと活用できると思う。 自転車利用者のマナーが悪く、印象が悪い。特に多摩川サイクリングロード。 昔ながらの地元の方と、外部から転入して来た方々との意識の差や文化の差異が目立つ。 飲食店や個人経営の店舗などについて、ネット情報が弱い。紹介や口コミなどでぜんぜんヒットしない。
①④	市内に大型バスで来れるような観光施設を複数整備した方が良い。 はとバスツアーの行程に稲城市が入るよう魅力的な観光施設が欲しい。
①④	大型の商業施設が欲しい。市内にいくつかあるが、テナントが期待外れなところがほとんど。市内は車が必須になるので、もう少し多摩川沿いにもバスを充実させて欲しい。利用したい時間帯にないから利用率が下がっている。稲城長沼や矢野口などロータリーが広めの地域には、府中や調布方面にアクセスしやすい環境が必要だと思う。今の稲城の商業施設の配置では足りない。御年配の方が1箇所衣服、食、医療、医薬品を揃えられるモールを、バスが利用できるものを作って欲しい。行きたいところに行けず行動範囲が狭まる人も増えていると思う。南武線はいつも混んでいて乗れないこともあるので、余計に足が遠のく。近隣の市はその対策が当たり前に出ているのに、稲城市だけは遅れている。小さい頃から他の市が羨ましいと思うことも多かった。なぜ稲城は遊園地もあるのにこんなにも栄えないのか？と。穏やかで住みやすいのは良いが、新興住宅街の整備にとらわれることや、観光誘致を進める前に、古くから住む市民や地区に対しても住みやすい環境にすることを寄り添ってもらわないと、不便である故、来て欲しいとも言えない。

分類番号	回答
①④⑤⑩	<p>人も増えてきて、もっと飲食店（チェーン店等）が増えると良い。誘致して欲しい。 ファミリー層だけでなく、独身の人も住みやすい街になると良い。 稲城駅からジャイアンツタウンへのインフラを早く整備して欲しい。 また稲城駅にも、稲城特産の梨、ぶどうが気軽に買えるお店があると良い。 良い所が、沢山あるのでもっともっと観光のプランを作ったり、情報発信、整備をして欲しい。 まだまだこれから発展して行くと思っています。</p>
①④⑧	<p>稲城長沼駅に住んでいます。駅前のスーパーが閉店したり、整形外科がなくなったり、こちらに、家を買って移り住んでから、栄えるより廃れていく様に思えてなりません。空き地ばかりが増えて飲食が増えません。夜は暗くて怖いです。野放しの解体しないスーパーをどうにかしてほしいです。台風の時期などに看板などが倒壊しそうで通勤通学不安です。都心へのアクセスが良く、自然豊かでのんびりした町をとて気に入っていますがこれから、子供たちが安心して過ごす街へとさらに発展して欲しいです。 子育て世帯が目指すのは学力が向上されるとかも重要です。うわさになるとか。稲城駅へのバスが少なすぎて不便です、良い塾が割とある稲城駅までバスがあれば便利だと思います。ジャイアンツタウンの水族館がオープンするなどこれからの稲城に期待しています。バスが開通すると良いかもと思います。 夫も私もふるさと納税をしないで稲城に納めているのは稲城が私たちのふるさとだと思っているからです。稲城が好きだと感じている住民はきっと沢山います！ただ住んでみないとわからない状態なので沢山住んでもらって稲城がより良い発展できるように沢山税収を得ていけるように住民ファーストを考えてほしいです、より良く活用していただけると嬉しいです！</p>
①⑤	<p>稲城大橋から稲城を見ると南山の斜面がさみしいので芝桜などの花を植えてきれいな丘を作る。稲城に来訪者を迎えるには飲食店を増やさないと潤わない。</p>
①⑤	<p>飲食店が少ない のぞいてみたくなるようなお店がない 散歩の途中で気軽に立ち寄れる場所が欲しい 稲城産の農産物を販売する場所が増えると嬉しい</p>
①⑤	<p>急速な宅地や道路開発等による人口や交通の増加により自然環境が削減されている反面、飲食に関するお店が減少しているのが気にかかる。稲城駅周辺でもランチする店が少ない。</p>
①⑤	<p>三沢川の桜は、素晴らしいと思います。 外食難民と感じる人が多いです。</p>
①⑤	<p>観光地としてのコンセプトがよくわかりません。（観光地として集客が多いところは、コンセプトを明確にして、イベントや施設、広報をそれに合わせて展開しているイメージがある。稲城の場合”なしのすけ”？）稲城にとどまって観光を楽しんでもらうためには、飲食・宿泊が弱く、まわりの他地域に人が流れているように感じます。梨畑や田園風景、里山は相続ともなう宅地転用や開発によりどんどん失われており、観光資源としての価値はかなり失われていると感じています。</p>
①⑤⑦	<p>ジャイアンツタウンが完成すると稲城駅も最寄り駅となり遠方から人が来て、駅前が賑わう事を期待しています。それに伴い大河原さん関係のキャラクターカフェ等が出来ればファンが集まるのではないかと考えています。ただ、人が集まれば財政も豊かになり良いとは思いますが、緑があり穏やかな稲城が好きなので、人が多くなり騒がしくなってしまう事には反対です。静かな住宅地と賑わう観光地の両立を期待します。</p>
①⑥	<p>参加型のワークショップが人気があり、訪れる方も多いように思います。 案1：毎月第2土曜日はマルシェの日と制定して、地元野菜の販売、フリーマーケット、ワークショップ、姉妹都市の産直販売など行うなど、継続した取り組みが必要だと思います。 案2：稲城市は、過去の市民憲章で一人1スポーツを推奨するとあったかと思いますが。緑が豊かであること、体育館なども充実していることから全国からの参加型イベントとして「i杯（稲城杯）」として独自にスポーツ企画を行う。優勝者には、花景の湯の招待券、地場野菜、地場果物などを贈呈するなど。マラソン大会、テニス大会、卓球大会など。知名度も上がりますし、人が動くことで経済も潤います。 (次項に続く)</p>

資料4 「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査

分類番号	回答
①⑥	(前項より) 案3：市の運営で道の駅のような、気軽に行ける場所として、定食、そば・うどん程度を提供、地場産野菜の販売、稲城市民の工芸品の販売、夏場の水分補給場所などのできる場所が必要です。雇用に関しても高齢者の活躍の場も必要ですし、何かしら工夫が必要であると思います。「隣のおうち(仮)」として、食べられる、買える、販売できる、休憩できる そんな場所があるとよいです。
①⑥	稲城市は大変美しく、自然と人との調和が溢れ、夏祭りの盆踊り大会も素晴らしいものです。大丸親水公園の美しさ、人の温かみもあります。大好きなまちです。しかし、私の海外経験から人がもっと集まるようにするには、素晴らしいカフェが必要です。カフェの充実さがなく、南武線の下を上手く使えていない。多摩川のスケボーパークや、バスケットコート、テニス、野球など、スポーツの場があるが、それに関連する休む場所などもなく、カフェやバーなども無いため、大学生以上の若者が盛り上げられる場所がないのが残念。子供、ファミリー、お年寄りには良いが、活気が欲しい若者にとってはつまらない街になってしまう。もう少し刺激があっても良いと思う。また、ガンダムがあるというすばらしさが活かせていない。稲城長沼の駅の発車音がガンダムの曲に変わったら、もっと人が来る。経費があれば、ガンダムの中に入った感じなども体感できるもっと参加型の物があれば話題はイッキに広がると思います。広々した広場でもっと沢山のイベントを実施すると良いと思います。ハロウィンイベントや、ガンダムイベント、スポーツイベント、サンバイベントがあるとよい。ビールイベントはあるが、値段が高すぎる為、地元の人あまり行かないとおもう。イベントを手掛けてきた私がお手伝いできたらよいなーというも思っています。観光に関してもしなにかお手伝いできたら是非連絡をいただけたら幸いです。
①⑧	来ていただいたら、長い時間とどまってもらえるような、レジャー施設、商業施設や飲食店などがもっとあるといいですね。移動手段の充実は必須ですね。市内の高低差に適している手段がよいです。
①⑧	稲城市のメインは稲城駅のはずなのに全く賑わっていないしお店も無いので、いつ行っても寂しい町だなと感じる。稲城長沼駅の方に観光案内所やお店ができていて、まずは稲城駅をなんとかした方がよいのではないかと思います。シャイアンツタウンまでの道のりも、京王よみうりランド駅からは送迎バスがあるが稲城駅からは歩いていかなければならず、しかもずっと上り坂で15分なんて若者じゃないと歩けません。稲城市民まつりも、駅からだいぶ離れた場所なので行くのが億劫になる。もう少し駅前に色んな施設やお店が欲しいです。
①⑧	駅周辺に飲食、商業施設の充実と交通手段(特にバス)の利便性の向上を期待したい。
①⑧⑨	シャイアンタウンを中心とした観光のアピール 周辺道路の拡張 バスの循環拡張 飲食店の充実
①⑧⑮	ロケ地マップの作成 駅周辺の飲食店誘致 混雑緩和のための道路整備(不要なセンタースペースをなくし、車線を増やす) 市民が暮らしやすいまま、市が潤うことが大事なので、外から人が入ってくることを想定したまちづくりをしてほしい。
①⑩	もっと市外から人を呼びこむこと。京王よみうりランドや稲城駅の周辺をキレイにすること。観光客が少し休憩できるカフェや飲食店を増やすこと。
①⑩	三拍子さんとのコラボは良かったです！三沢川の桜や梨をもっともっとPRしても良いかと。稲城駅周辺に店が増えて欲しいです。
①⑮	新しく稲城の目玉を作る時期にきていると思います。ワンパターンですよ。稲城梨は購入方法が旧式で面倒。あのスイーツ店のお菓子は本当に美味しい？第一に、地元人が観光客を望んでない気がします。接客態度が、都内では通じないクラスが多い。その改革が先なのかも。観光に来て飲食店が少なすぎて、不便を感じると思う。

分類番号	回答
②	数年前に企画が進んでいたドッグランが企画倒れとなったままで残念です。でも、あの場所は正直言って適して居ないと思いました。ペット連れのまま入れるレストラン、ドッグランを総合体育館、若葉台公園、南山のいずれかに設置して欲しい。絶対に流行ると思います！犬の散歩に適した自然豊かな稲城に、この様な施設が無いのが逆に不自然なくらい。愛犬家は待ち望んでいます。
②	サッカーや野球ができる公園を増やしてほしい。
②	子供が遊べる公園を増やして欲しい。北緑地公園のような感じの。バスケットコートやスケボー場は、調布や府中からも来ています。平尾や若葉台に近いところに作れば、多摩市や麻生区から呼べるのでは？あと、撮影スポットを増やすのも面白い。聖地巡礼みたいな感じで盛り上がると観光客も呼べるのでは？
②	自然が多い街なのでそこを活かしてこどもの国や昭和記念公園のような大きな公園があったらもっと観光スポットになると思います。
②	散歩をしている時に感じるのですが、公衆トイレが少ないと思います。綺麗さを維持するのは大変だと思いますが。
②	南山からの素晴らしい景色を活かした、自然豊かな展望台・公園を整備してほしい。（おそらく展望台は北側と東側を向くことになりませんが、高さによっては南の横浜方面も見ることができ、夜景のスポットにもなるのではないかと）
②③④⑤	猛スピードや、集団でのサイクリングに、運転中何度か危険を感じたことがある。交通安全の面から、自転車を呼び込む事はやめてほしい。 観光を意識するなら、何か新しいことや変わったことをやる以前にまず市内の美観を整えるべき。具体的には歩道や市の施設周辺の雑草がひどかったり、街路灯が充分でなかったり。メンテナンスがきちんとできていないと街はみすぼらしくなるばかりです。 市内の公園など、ちょっと行きたいと思っても駐車場がないところが多い。スペースがあると思われる所でも、駐車場を作らないのは、来て欲しくないのかと言いたくなる。 稲城の梨を買ってみたいけれどどこで買えるのかと聞かれることがある。「セレスモス」のように、市内のとれたての野菜や果物をまとめて買える店舗があったら、市内外から人が集まるのでは？
②③⑤	梨園が段々減ってきているのは観光的にはマイナスかと思います。あと駅近くからシェアサイクルが利用できた方が便利と感じます。正直市民としては観光客より市内の子供を大事にして欲しいです。（南山の公園不足や古い中学校の設備や教員不足など。今年こそは全室にエアコンを！）
②⑤	折角の中央公園の敷地面積と景観を、活用しきれていないように感じる。魅力ある公園に整備することで、市外からでもわざわざ訪れたい場所になると思う。
②⑧	バス本数増加等の公共交通機関の充実と稲城やすらぎの森の整備を早急に行ってほしい。また浜浜地区等のコンビニが少ない地域にコンビニを招致して充実を図る。
③	自転車マナーについての広報
③	自転車のまちを標榜してますが、子供を連れて歩いていると危険を感じる事が多々あります。特に競技用のような自転車を乗っている方々はスピードも出ているため大変危険です。普及啓発に加え、警察ともしっかりと連携してルールを守らない人に対処していただきたいです。
③	アメリカ稲城ショッピングセンター周辺にハローサイクルの拠点誘致を切望します。
③④	サイクリングスポーツが盛んになることは結構なことだが、交通ルールやマナー違反が目立つようになった気がする。ルールやマナーについて、啓蒙する活動にも力を入れてほしい。また、梨等の果物販売の時期になると、道路に駐車車両が多く、状況によっては通行障害が生じている場合が散見される。観光に力を入れるのは賛成するが、負の効果として観光公害になるのは避けてほしい。
③④	自転車のまち 推進は歓迎ですが道路が悪すぎます。その整備が必要かと思っています。

資料4 「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査

分類番号	回答
③④	自転車の通行を奨励するのはいいですが、あまりにも狭い道路に自転車通行指示があるのはとても危険です（特に坂浜）。実際の使用を考えて通行指示を出して欲しいと思います。書いてあっても通る気にはなれないし、通行している方を見かけても(しかも子連れ)大変危険だと感じます。自転車の街とする方向性は分かりますが、市全体に適應するには無理な部分もあるのではないのでしょうか。今一度検討いただきたく思います。
③④	自転車を売りにしたいのであれば道路整備、自転車（ロードバイク）のライダーのマナーが不安です。自動車運転中ロードバイクの人が自分勝手に車線変更し、何度も危ない目に遭いました。また押しボタン信号が青になり子供と横断するときに赤なのに突っ込んできたロードバイクの人に危ないと大声で言われました。とにかく自転車は安全を確保してから売りにして欲しいです。
③④	サイクリングする人も多いので道路が広いといいです。
③④	自転車の街をうちだすことで利用者が増えると思うのでいいのだが、と同時にきちんと道路整備（十分な広さ）を確保できるよう努めなければ事故が多発する。
③⑤	圧倒的に有利なのは、東京都心からこんなに近くに田んぼや里山があることです。例えば、外から来た人を黒川地区でJAから田んぼを抜けて国土館までの道を案内するとみなさん感激されます。お世辞ではなくいいところだと感動されています。しろやまの森付近の南山に遊歩道を整備しましょう。砂利を敷いたり舗装したりと道を整備する必要はないので、定期的に草刈りをしてモデルコースの分岐路に標識を立てるだけで十分だと思います。webのウォーキングコースの写真案内では、草が伸びていてなかなかコースの分岐路と分かりませんでしたので、標識が欲しいです。小さなもので十分なので、3,4年後に褪色したら塗り直せるような手軽な標識がいいと思います。自転車、ロードレーサーの人たちは後10年は放っておいても集まってくると思います。グームも下降線なのでそれ以上継続しようと考えたら、飲食店や小売店のお店に自転車ラックの作り方を教える（DIY教室を開く）などして稲城で休憩してもらってお金を落とす工夫を続けたほうがよいと思います。小屋で梨が買えることや、よみうりランド駅近くのはちみつ屋さんを教えると結構な割合で買っていかれます。（自転車乗りの間では、武蔵五日市のカフェ併設のはちみつさんが有名ですが）自転車での観光には、ローソン 稲城鶴川街道店さんの献身が影響大だと思います。また里山やよみうりランド近くのMTBコースの協力でMTBで入っていいモデルコースを設定できるといいと思います。なお、モデルコースやパンフレットには入ってはいけない道ははっきり明示するべきです。モデルコースは通っていいが、分岐を間違えたら下車してコースにもどれ等。（都会から来た人の）MTBは必ず地元の方とトラブルになりますので。
③⑤⑦⑫	里山などの自然資源や果物の特産品などとシェアサイクルやサイクリングロードを組み合わせた自然体験と、よみうり関連や大河原プロジェクトを組み合わせたアクティビティや趣味の2本柱で観光を推進していくとよいのではないかと。どちらもまだ未開拓の部分があると思う。
③⑯	市政全体含めて財源の適正活用を望みます。自転車専用道路の確保などで自転車事故ゼロを目指してほしい。
④	電柱の地中化推進
④	JR武蔵野線の停車駅にする。20年以上前からの計画である京王線の駅を駒沢学園近くに新設計画の実行。
④	都会と田舎の共存、トカイナカとして自然が素晴らしい便利な街稲城市を目指して欲しい。
④	防災や安全面にも配慮した街づくりと観光を目指してほしい
④	市の玄関である稲城駅のロータリー工事が進んでいるが、歩行者目線では、歩道がでこぼこだったり、雨が降って水たまりができたりする。バスロータリーに屋根もないところある。よみうりランド駅についても整備が不十分。ホスピタリティに欠ける。ベビーカーや車椅子でも安全な歩道の整備をまずは駅からお願いしたい。
④	徒歩で回れるような場所が少ないため、観光を密集させた地域（統一感を持った外観）があると、呼び込みやすいと思う。
④	稲城の魅力を生かしながらも、静かで住みやすい稲城をこれからも守りながら観光とまちづくりをお願いしたいです。

分類番号	回答
④	<p>近年、稲城市がメディアで取り上げられたり、よみうりランドの人気やジャイアンツタウンの開業で賑やかになっているのを感じ嬉しく思います。以前、三沢川の桜へ都心に住む友人を案内した時とても綺麗で感動した、空いているし、歩道は広くて歩きやすい、いつも目黒川へ行っていただけ、今度から三沢川まで見にくるよと喜んでくれました。稲城市が賑やかになって嬉しい一方、少し困っていることもあります。私は車通勤で矢野口からよみうりランド方面へ行くのですが、京王よみうりランド駅南側の横断歩道は信号がないため、週末や長期休みはよみうりランドへ向かう歩行者がなかなか途切れず、横断歩道手前で停車している時間がとても長いです。また夕方、よみうりランド付近の渋滞で職場から5分で帰れる道のりが30分以上かかることもあります。多少は仕方がないですし、通勤方法も工夫しなくてはと思っていますが、京王よみうりランド駅南側の横断歩道とT字路交差点のところに信号機を作っていただけると嬉しいです。今後、観光まちづくりを進めていただく中で、観光での賑わいと市民の生活が両立されることも期待しています。</p>
④	<p>稲城らしく立体感のある自然を残しながらニュータウンと融合した街づくりに期待しています。稲城の土地でしかないできない立体感や都会の眺望などに力を入れて街をアピールしてほしい。</p>
④	<p>若葉台地区はめざましい発展を遂げています。Iプラザのホールの舞台の音響の良さ、TV局のサテライト、ノジマ、K'S電機、ヤマダ電機など商業施設も充実しています。ぜひお忘れなく!!</p>
④	<p>(以前は欧州・横浜市青葉区に居住のため、そことの比較になります) 良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな公園が多い ・比較的安全な街 ・渋滞が少なく車移動がスムーズ ・商業施設や繁華街が少なく落ち着いた暮らしができるが <p>改善した方がよいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の誘致 ・子育て世代だけでなく、全世代(成人やご年配)が豊かな暮らしができる、もう少し細やかな配慮があるとよい。 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車の運転をしていると見通しが良くない場所が多い。街灯はあるが街全体が暗く、特に歩行者などがわかりにくい。街路樹(サツキ等)の高さを揃えて若干低くすると、歩行者などが見つけやすいのでは。横浜市青葉区にくらべて普段の運転に非常に(安全確認作業が頻繁になり)神経を使う。暗くて狭い曲がりくねった車道が多い。 ・観光も良いが、まず基本的な市民の暮らしやすさを行政の仕事として質を高めてはどうか。横浜市や欧州のようになるまでには、時間も予算も多く必要ですが、折角広い土地が利用でき未成熟な状態なので、しっかり基盤を作っていけば将来的に豊かな街になると思います。 ・稲城市の梨農園で並んで買いましたが梨(新高)が硬く香りが殆どなくなりますがすした食感でした。期待値を上げるだけでは逆効果なので、梨そのものを美味しく改善してほしい。 <p>若干、価格設定が高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲城駅前のタイムズやその裏の土地(2024年売地)を市が買って商業施設を建てるわけにはいかないのでしょうか。稲城市の名前のついた駅なので、(調布駅のように)賑やかに展開してほしい。
④	<p>京王よみうりランド駅前が、人が多く訪れる割に何もお店がなくて寂しい感じがするので、もう少し繁栄した方が良くと思う。観光客が稲城市で使うお金が少なく、観光消費額も増えないと思うから。</p>
④	<p>長沼の駅前がどんどん廃れていっているように思います。お金もかかるとは思いますが、グルメシティの跡地や、ペアリーロード商店街の区画整理はどうなっているのでしょうか？お店が無くなっていくのが、本当に寂しいです。観光も必要だとは思いますが、地元の人が便利だと思いう駅前に変化してくれたらとても有難いです。昔の商店街が懐かしいです。</p>
④	<p>坂浜や南山の開発で人が増えて、スーパーなどが混雑しているので、買い物がしづらいです。</p>
④	<p>向陽台方面の開発は、進んでいるが矢野口、稲城長沼方面は開発が遅れているので、開発に力を入れて欲しい。</p>

分類番号	回答
④⑤	<p>せっかく多摩川があるのに、調布や府中側はウォーキング、サイクリングコースがしっかり整備され安心して利用できるのに、稲城市側は整備が甘く、夜は暗く防犯も危うく、わざわざ橋を渡って向こう側でサイクリングやウォーキングをしている。街頭や車から見える場所へのコース整備などすれば調布側から人が来るし、サイクリングの聖地としても成長できると思う。南山のはげ山感を何とかして欲しい。緑地計画はどうなっているのか。戸建が土色なので余計に山肌感があり、稲城の自然の景観が失われた感じがする。</p> <p>稲城は適度な田舎感が一番の売りのはずなのに、自然が失われたら何が残るのか。自然が豊富にある東京都。これが宅地造成は人口増加には必須だが、自然を残しつつではないと、何年後は荒廃した宅地だけ残るのでは。</p> <p>人口増加を目的にするなら、学校を誘致するなど、教育機関を豊富に作るのが一番なのでは。稲城市には大学がひとつしか無い。若い人を呼び、これが稲城が生き残るために必須ではないか。梨や農業を活かして農業の学校でも良いと思う。</p>
④⑤	<p>ボランティアのハードルが高い（素晴らしい取り組みも多いと感じますが、ボランティアに求めるレベルが大きいイメージです。子育て世代は気軽に参加しにくい）。稲城市の良さは緑が多いこと。これ以上、自然が壊されないことを希望します。飲食店、病院等は、地域により偏りがある。誘致をしていただくと助かります（特に、小児科、皮膚科等）。</p>
④⑤	<p>少子化が進むような時代に逆行するような、過度な開発には反対です。稲城市の特徴でもある自然を保全するような施策を進めてほしい。</p>
④⑤⑥⑦	<p>稲城市の観光まちづくりは、1.自然豊かなリラックスできる街、2.病院、学校、交通の便が良く住みよい街、3.農業、工業、商業が盛んで経済発展が望める街、4.イベント企画に大別できると思います。これらを宣伝するために1は各地域の要所を季節に応じて、みんなが来やすい地図や観光名所をつくる。2は建物の立地場所や山や川や丘などの鳥観図やバスや電車の運行状況、道路の状況や所要時間とうの説明。3は中小企業さんへのオファーがある宣伝や各地の農業の実体験を具体的に企画する。4は産業まつりや稲城フェスタ、阿波踊り、音楽会とうのイベントの様子や開催日を未然にSNSでお知らせする。これが一番大事かも。観光客が外人も含めてSNSで簡単にアクセスでき。興味もて、交通手段をわかりやすく伝え、写真やカラーの宣伝画像で誘導できる方法を構築されたいかがでしょうか。</p>
④⑧	<p>土木課に下記の要望を出しましたが、今回のアンケートを見て観光課に出したほうが良かったと感じました。連携いただけますでしょうか？周辺を散歩していると、市道と思われる道路なのに、通行不可能で、あったり、通行区分が不明な道路があり、段差があり危険な場所もあり整備いただきたい。</p> <p>1、ヴェルディフィールドの入り口から東洋グリーン株式会社の横を通り蓮光寺の三輝リーテックに抜ける道が、閉鎖されている。ゴルフ場に挟まれていて危険ということはわかるが、危険を防ぐのはゴルフ場の仕事であり、市民が道を通れなくなるのは、不条理。近道として非常に有効な道であり、市とゴルフ場でしっかり整備して通れるようにしてほしい。2、南多摩尾根幹道路の神奈中バス折り返し駐車場と上谷戸通りの分岐の中間にある分岐から上谷戸通りに降りて行く道が途中で分かれて竹林に入って行く道が閉鎖されている。たけのこを盗む人がいるからという理由だが、たけのこを盗まれないように対策し、道は通れるようにしてほしい。3、パークヒルズ北バス停付近のもみの木橋の階段とパサージュ稲城の間の遊歩道が良くわからないので、若葉台4丁目30番の街区の裏側にある遊歩道に入れない。遊歩道につながる道を明確にほしい。4、籠谷戸の森、しろやまのもり周辺の歩道は、所々私有地なので入らないようにの看板があるが、市道、市有地、公園などとの境がわからず、どこまで入って良く、どこから入っていけないのか、一般の人が入って良い公園なのかかわからない場所があるので、入ってはいけない場所は明確にもらいたい。5、上谷戸大橋の歩道で、総合体育館から若葉台駅にむかうとき右側の歩道のはじまりのあたりが、2センチ程度地盤沈下していて段差に躓き転びそうになるので、応急処置で良いので段差をなくしてほしい。</p>
④⑧	<p>稲城駅周辺ももっと活気あふれる雰囲気になるようにしてほしい。「稲城」の名のついた駅なのだから。バスの路線の再検討は声が上がってないのか？右左周りだけではなく、もう少し利便性のある縦横のラインがほしい。</p>

分類番号	回答
④⑧	外から人を呼ぶためには、歩道の整備や駐車場の完備が必要だと思います。歩道は狭いし、段差が区内に比べてガタガタですね。また、三沢川や多摩川周辺には、広い駐車場が必要だと思います。更には、市外から市内の観光地を終点としたバスの運行もあるとなお良いです。
④⑧	市内の一部地域だけでなく、市内全体が賑わうような街づくりを希望します（現在平尾在住ですが、稲城長沼や南多摩方面は公共交通機関でのアクセスが良くないので、そちら方面のイベントは行きづらいと感じています）。
④⑪	地域経済の潤いに繋がる観光まちづくりを推進と、観光スポット近隣の渋滞、違法駐車、ごみのポイ捨てなど、住環境の悪化が起こりにくいような対策も同時に考える必要があると思います。
④⑪	稲城駅の近くに住み、子育てをしています。シャイアンツタウンスタジアムがオープンし、今後水族館もできるとのことで子どもたちもとても楽しみにしています。しかし一方で、水族館ができることでピューロランドなどに訪れた外国人観光客がかわせて稲城に寄ることが予想され、治安や環境が悪くなったり、駅前付近の混雑、シェアサイクルの利用者増による交通事故の増加、などが不安です（すでに新しい道が開通したことでよみうりランド方面からの来訪者が増え、ヤオコーがかなり混雑して買い物しにくくなってしまいました。駐車場の出入りが双方向からになったことにより歩行者の安全面も心配です）。今の稲城はとても静かで、子どもたちも安全に暮らしやすい町だと感じています。観光で町が潤って活性化するのも大切な一方、周辺住民が落ち着いて住み続けることができるよう最大の配慮をしていただければと思います。
④⑭	①南多摩駅の整備：聖蹟記念館は多摩市にあり、現在では京王線に「聖蹟桜ヶ丘駅」がありますから、聖蹟記念館で南多摩駅を思い出す人はいないでしょう。しかし、「南多摩駅」はもと「大丸駅」「多摩聖蹟口駅」と称していた時期があり、本来であれば「聖蹟」を冠するのは「南多摩駅」であるべきなのです。もともと南多摩駅は「瓦谷戸」や、破壊してしまった縄文時代からの複合遺跡「大丸遺跡」と合わせて、聖蹟記念館への経路として観光化を進めれば、確実に観光駅になったことを考えれば残念です。今からでも南多摩駅のきちんとした位置づけをしなければなりません。例としては、周辺復元立体模型の駅前設置。旧駅名の宣伝など様々なことが付け加えられます。 ②稲城長沼駅の整備：東長沼村にあった奚疑塾は、多摩郡さらに武蔵国の教育の中心の1つであり、明治期の最大の先進教育機関と言っても過言ではありません。そこに一番近い稲城長沼駅の整備計画の一端にその発想を付け加えるのは必須でしょう。ガンダム像を否定するものではありませんが、それと並行して稲城市を教育の町として位置づけるのに、窪全亮像の駅前設置は、戦争によって供出されたという歴史から平和思想教育の点からも行政的課題と言っているでしょう。それはまた、観光の発想の転換をすすめるものともなるでしょう。
⑤	南山は高尾山に負けない位の山菜や鳥の宝庫です。散策ルートの整備を行い地主さんの切り売りを防げれば、立派な観光地になります。また、中央公園のくじら橋下の芝生をドッグランにすれば、近隣から車で来て、犬を遊ばせた後にゼブラカフェに寄ったり、中央公園の下の樹林地まで歩いて自然を楽しんでくれたりと、犬友のロコミの威力は凄いのので、金も落ちるし、賑わうと思います。
⑤	梨園や自然が減って、宅地が増えている事で、稲城市の魅力が失われている気がします。
⑤	これ以上、山を削らないで欲しい。
⑤	ニュータウンのアートや景観等の評価を期待します。
⑤	地元民がなしやブドウを買えなくなっているのが寂しい。
⑤	ほっこりして住みやすい稲城市を他の地域の方にも味わっていただきたいです。のんびりとくつろげる癒しの街。シャイアンツ球場もよみうりランド、温泉もありますね。
⑤	緑が多く景観がきれいなところが気に入っている。しかしチョウゲンボウは市の鳥なのに、谷戸の整備や環境保護には全く注がれていないと感じている。開発ばかりでなく、ぜひ動植物の保護を考えた緑の街にして欲しい。道路もUターンが必要な場所が多いのは、少し不便に感じている。

資料4 「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査

分類番号	回答
⑤	三沢川の桜並木、ホテルのいる谷戸など、素晴らしいところはいくつもあるので、市外の人にも見てもらいたいと思う。もっと知ってほしい。
⑤	引越してきた当時より洗礼された街並み、住みやすい街に変わってきました。東京ジャイアンツタウンが開場して、ますますこれからは楽しみです。
⑤	東京の中で自然が多くのおびりして過ごしやすい街だと思います。ジャイアンツタウン等の開発で街に活気が出るのは良いことだと思いますが、自然は壊しすぎないでほしいです。
⑤	豊かな自然が稲城の魅力の一つでもあったのに南山をハゲ山にしてしまったのは今でも残念です。
⑤	梨の時期に地元でも梨が買えない。小売りで売るのは時間もまちまちですぐに売り切れてしまう。JAも出ている数が少なすぎる。道の駅みたいな大きな直売所など梨の時期にここにいったら沢山置いてあるという所がないと、他から来る人もどこで買えばいいかわからない。そうしたら、もっと稲城の梨を買いにきてくれる人が増えると思う。
⑤	稲城に住んで20年くらいの中に、空き地や里山が住宅ばかりになり野生動物が減り稲城市の魅力であった豊かな自然が無くなってしまった。市外からの車も多く入ってくるため運転もし難くなった。
⑤	観光も大切だろうが、そのために自然を壊したり住民生活を後回しにするようなことにならないことを願っています。
⑤	建築ばかりで緑が消えて残念に思っている。よみうりランドの近くにグランピング施設を作るとかはどうでしょう？近くに花景の湯もあり、遊園地あり、自然も生かせる。千葉だと一泊10万円を超えるところも多いので、夏はプールとグランピング、温泉、フルーツ狩りとグランピングとか稲城らしさを出せて観光のお金も入ってくるようになると思っています。
⑤	観光の為に、緑を減らすような事業はしないでいただきたいです。あと、大丸親水公園の用水路（川の中）にゴミが増えているのが気になります。拾いたいけど、道具が無いので拾えないです。1カ月に1回とか、用水路（川の中）の清掃をしていただくと良いな、と思います。網でゴミをすくうだけでもプラスチックゴミの削減にもつながると思います。用水路の雑草などは、シルバー人材センターの方々がやっているのをよく見かけます。気持ちよく歩いてありがたいです。
⑤	推奨できる観光コースをバスで回れるコースを作り情報誌に掲載する。梨特産とうたっているが昔ながらの農家経営で車や農作業車の道路放置や焚火、梨の木の消毒など昼夜構わずまた、「明日は消毒」などの掲載などがされなくなってきて、「後から来たくせに文句を言うな」雰囲気があり知人などに紹介しにくい。
⑤	もっと自然を活かして欲しい。自然豊かなありがたい山を切り崩してまでやることだったのか未だに疑問。
⑤	稲城市の特産の梨やぶどうが高過ぎる。特産を市民が買えないのに観光客に奨めるのはおかしい。観光よりもまず市民を大事にし市民が気軽に買えるようにしてください。わざとらしい観光事業は、国民を踏み台にして外貨を稼ごうとする発展途上国を思わせる。
⑤	梨園が減ってきています。地主が売って一軒家が多数建っており、梨の量も減って街頭でほとんど売っていない。大丸のレンゲ祭りも無くなり、家になっている。このままでは問題かな？
⑤	稲城の最大の良さは、里山と美しい自然。山を削るのは稲城の魅力を削るに等しい。自分の実家は千歳烏山だが、稲城が1番好き。これ以上、都心化しないで。田舎の稲城が1番魅力的。

分類番号	回答
⑤	自然が多く住みよいまちだと思えます。いつも創意工夫ありがとうございます。市外からも来訪し活性化してほしい一方で、稲城の魅力である自然の美しさや穏やかさが失われないように願っています。バランスの取れた市政をお願いいたします。
⑤	開発もいいのですが南山に惹かれて稲城に来ました。なくなってほんとにかなしいです。また大雨のたび排水ができず、山からの水の流れもとても心配です。そういった基本的な部分にも力を入れて稲城の良さを発信してほしいです。
⑤	景観良い場所多く、そういう部分で整備進まない平尾や坂浜地域の自然景観を長期計画でよいので進めてほしい。若葉台地区には、柔軟なサービス展開可能な個人店が入り込める余地ないので、今やっている公園内の格安でのキッチンカー事業のようなものを活性化してほしい。事前に何が来るのか早めに分かると行きやすい。その時にヘルシーフードなどテーマがあると人が集まりやすい。
⑤	都心に近い稲城にとって里山や梨・ぶどう畑などの自然や農産物は大切な観光資源だと思いますので、里山の自然の保全や農業地の確保には力を入れて頂きたいです。
⑤	「首都圏にしては自然が豊か」な点は、多くの人に自慢できるものと思っておりましたが、最近も住宅地造成が激しく、胸を張って言えない状況です。残る自然もわずかとなっていると思います。これ以上開発されないことを祈っています。
⑤⑦	美しい自然と景観は維持しながらも、この土地に来ないと手に入らない宝物（特産の品やガンダムなど）があることをアピールして、もっと稲城市に興味を持って欲しい。
⑤⑨	稲城市における食（梨・ぶどう）とジャイアンツ・ヴェルディ・よみうりランドで他自治体との差別化が出来ると思います。
⑤⑩	正直、住むまで稲城市のことを知りませんでした。なんならよみうりランドは川崎市だと思ってました。住んだらいい街なので、もっと宣伝して稲城市の知名度を上げて欲しいです。個人的には三沢川の桜並木が抜群に素敵だと思います。
⑤⑩	都内とは思えないような野生的な自然にあふれた南山がすっかり開発されて、正直、他のニュータウンとは違う稲城の良さ、個性が減ったと感じています。開発前は市役所近くでもよく見たタヌキ、ハクビシンもいなくなりましたね。しかし、ジャイアンツタウンは市外の方もよく知っているのは現実で、これからの稲城の観光には上手にその知名度を使うべきだと思います。あと、都心は小さいスーパーマーケットが多く、稲城の大きいスーパーに「アメリカみたい！」とびっくりされた事があります。稲城市民にとっては当たり前の事でも、実は他の方は驚く事が他にもあるかもしれないので、地元の市民の感覚だけでは無く、他の地域（インバウンドなども）の方にも稲城体験をしてもらって魅力発見しながら観光まちづくりを進めるのが今後につながると思います。
⑤⑫	観光や住みやすいことばかりに注力しないで、今ある企業や工場・農園等を大切にしてほしい、一時的にしかこない観光客ではなく毎日通ってくれる人の方がありがたいので企業を誘致してほしい。後からきた住民の苦情を農家や企業に伝えることしかできない市にはがっかりしている、街の活気とは住んでる人と観光客だけでは成り立たないと思う。観光PRに生産面積が減ってる梨をメインにおいてる時点で、観光まちづくりに無理を感じる。
⑥	フルーツマラソン大会、激坂マラソン大会、チャリティーマラソン大会、ナイトマラソン練習会など地元であつたら嬉しいです。
⑥	東京ヴェルディやジャイアンツ等、プロスポーツコンテンツを活用し、市民が盛り上がるイベントを開催して欲しい。
⑥	スポーツイベントの誘致などがあると良い。ただ恒常的に道路が混雑したりゴミがあふれかえったり治安が悪くなるのは嫌なのでピンポイントのイベントが良いと思う。

分類番号	回答
⑥	<p>稲城市は三沢川沿いに、鳥のオブジェが付いた車止め(商品名：ピコリーノ)がたくさんあります。ピコリーノは大変人気があり、各地でお洋服が着せられ話題になっています。神奈川県江ノ島駅前のピコリーノは、藤沢市や地域の方々イベントなどを行い、ボランティアの方々がお洋服を着せ替え、観光名所として大変賑わっております。車止めを制作している会社:サンポール様の本社がある広島では、デイサービス施設などで編物を行い、幼稚園に設置されているピコリーノにお洋服を着せるイベントなどを行っています。そこでせっかく人気のある車止めピコリーノがたくさん設置されている三沢川沿いの稲城市をより一層PRできるように、四季折々の美しい三沢川を可愛いピコリーノにお洋服を着せる活動やイベント、また、お洋服を作る(編み物、手芸教室)など地域の方々の集まりの様なことを行っただけでいいと思います。イベントなどではなくても、編物が得意な方との繋がり、手芸や編物を通じてピコリーノにお洋服を着せる活動に協力出来ることがあれば参加したいと思います。江ノ島のピコリーノの様に稲城市のピコリーノも認知度を上げ、稲城市の素敵なお土産をもっとたくさんの方に知って頂けるきっかけになれば良いと思います。</p>
⑥	位置ゲームとのコラボがあると面白いらうなあと思います。
⑥⑪	<p>何度か稲城市観光の市内観光スタンプラリーなど参加させていただいていますが、例えば「稲城の昔ばなしを巡るクイズラリー」では、あまり訪れることのない稲城市内のいろいろな場所に行くことができたので楽しかったです。が、職員の担当者以外の方々も実際に体験しているのだろうか？参加者の年齢層を何歳に、またポイントへの交通費や徒歩での体力面への影響をどのように考えて設定しているのだろうか？という疑問に思っていました。その回では、参加者には「応募ハガキで応募してクイズに正解した人の中から20人にまんじゅうがプレゼントされる」のだから参加しようというニュアンスに聞こえるプレゼント！「稲城の太鼓判」の宣伝を兼ねているのは分かるのですが、参加させる為の餌に見えてしまいます。それなら『稲城の昔ばなしを巡るクイズラリー』参加賞と印刷されたミニ表彰状』とか『稲城なしのすけ』のシール一枚』とかを達成者全員にプレゼントのほうが記念になって、参加して良かったと思うのではないのでしょうか。せっかく良いイベント(この場合は稲城市にも昔ばなしがあったのだと再認識させていただきました)を行っているのですから、もっとたくさんの方の皆さんに参加してもらいたいという気持ちです。歩き回るのが好きな人だけ参加すれば良い、と考えているのではないと思います。京王線のスタンプラリーなどでも達成記念の景品グッズを貰える楽しみで参加する人もいますので一考願えればと思います。</p> <p>次に、観光まちづくりへ力を入れているのはわかります。が、(手元にあるのが2018年12月発行ですが)「稲城のまち歩きをもっと楽しく!稲城ぶらり散歩」(A3×2枚分の両面刷り)の折り畳み式パンフレットは、せっかく素晴らしい情報満載なのにいちいち開かなければならない折り畳み式なので、できればA5版サイズの小冊子にしてもらえると、持ち運び便利で利用勝手が良くなると思います。参考として「東京の観光公式ガイドー東京トラベルガイド TCVB」までとは申しませんが、移動の際もバッグの中に入れておいて稲城市のいろいろな情報が網羅されていて観光後も利用できる利用したくなる魅力的なミニガイドブックにもらえれば良いと思います。</p> <p>それと、最近土地価格は高騰しているがそれでも稲城市に移住を考えている人の話を近辺で聞く機会が多くなってきていますが、その人達が近所を散策した時、たまたま「平尾十二塚」と「平尾入定塚」を目にして、説明文が書いているであろう銅板?の文字が読めないと言われました。(確認に見に行っていないのですが)、確かに以前見た時に読みづらいなと思ったことがありました。せっかく立派な説明文も設置からかなり経っていると感じますので、たまたまこの二ヶ所だけでもいいかもしれませんが一度総点検してはいかがでしょうか。</p> <p>さて、観光のモデルケースではありませんが、散歩のモデルケースとして各町内ごとに散歩コースを作るのはどうでしょうか？老若男女とくにこれからの稲城市を担うかもしれない小学生でも容易に歩ける単なる物見遊山ではなく、由来や歴史など学習にも使える を中心に考えるコースです。名所旧跡・神社仏閣だけでなく、近所の公園や建物、構築物などを巡り同じ町内でも知らなかった事を再発見する 小学生のグループでも参加可能なレベルの町内コースです。(これは町内会の仕事ですかね?)つぎは、稲城市と隣接する市境、県境を巡る小旅行です。稲城市は東京都の中でも面積が小さいと言われていたますが、歩くとかかなり大きいと再発見してもらおうコースです。隣接する川崎市・多摩市・多摩川との間の道路を巡るコース。途中でポイントを設けパスワードの文字やマークを設置して、メモしてもらおう。達成後、応募してもらおう。走破距離が長いので期間をやや長くとる。</p> <p>観光については「稲城の太鼓判」の大人向けのお土産は出来ないのでしょうか？たとえば、酒類の販売は出来ませんか？昔あった梨ワインや日本酒で、720ml 1本でなく、小瓶二〜三本の箱詰めセットでご贈答用があると稲城市のPRとして。また、話題づくりとして活用できるし、お洒落な手土産になるとおもわれるのですが。</p> <p>(次項に続く)</p>

分類番号	回答
⑥⑪	(前項より) いろいろ書かせて戴きましたが、古い資料であったり既に改善されているようでありましたら誠に申し訳御座いませんがお聞き流し下さいますよう切にお願い申し上げます。「TOKYO GIANTS TOWN」の完成がこれからの稲城市の観光の発展に寄与する事を心より願っております。
⑦	稲城市の名前が付いている稲城駅にガンダムがない、稲城駅前観光開発が必要。
⑦	せっかく大河原邦男先生のご出身地でご在住であるのに、もっとアピールして欲しい。本当に勿体無いです。著作権で大変なのかも知れませんが、やらないと信用もされないと。なしのすけグッズも増やしてください。私の出身である北海道のご田舎よりもグッズが少なくてびっくりです。
⑦	等身大のガンダムを南山に建立するのはいかがでしょうか。南武線や稲城大橋から自然と目に入ればインパクトのある宣伝になると思います。
⑦	ジークアックスでファーストガンダムに注目が集まっている中、大河原邦男プロジェクトを筆頭にコンテンツツーリズムを充実させると良さそうです。
⑦	観光案内所であるペアテラスを主軸にさらにメカニックデザイナーの大河原さんに関連します機動戦士ガンダムを意識したまちづくりのために様々なことを検討してもらいたい。機動戦士ガンダムの街を市内外に周知させ稲城市の発展に繋げてもらいたい。
⑦⑨	よみうりランド及び東京ジャイアンツタウンが要因となる市域外からの滞在人口を分析し、観光施策を打ち出した方が良いと思います。上記の二つ以外のコンテンツは滞在人口を大きく増やす要因があるのかは不明ですが、上記のコンテンツが稲城市で消費活動を行う主体であることは明確だと思います。まずは、ある程度効果が出そうなところにターゲットを絞って、事業を推進するのが良いと考えます。大河原邦男プロジェクトについては、非常に価値あるコンテンツである一方で稲城市の事業のターゲットが大河原先生のファン層とマッチしていないのではという点が気になるところです。子どもに目を向けるのは非常に大切だとは思いますが、一度はロボットファン層などを取り込む施策などを考えても良いかと思えます。
⑧	様々な取り組みをされていることは存じ上げておりますが、車でのアクセスが難しい印象があります。子供を連れて参加するにはバスは難しく、駐車場の充実など、車でのアクセスが改善されると助かります。特に私が住んでいる平尾地区からは、どのイベントもアクセスが悪く、市の中心部と比較するとあまり一体感が無いように思います。
⑧	バスの便が大幅に減った地域がある一方で新規路線の開通というのはいかがなものでしょうか。土壌が出来上がるまでに先走っている感じがします。一定効果が出始めているのは否めませんが、そろそろ基本的なまちづくりを優先する時期に来ているのではないのでしょうか。
⑧	自家用車がなくても移動しやすい環境が整うと助かります。
⑧	バスの本数が少なくて移動するのにとても不便。平尾から市役所や稲城長沼などへ行くにはバスや電車両方使わなくてはならない。観光客も不便ですね。高級感のあるお洒落なレストランがないので困りますね。
⑧	車がないので移動しやすい手段があるといーなーと思います。あと、新百合ヶ丘駅前のイベント等日中だけでなく、夜間も参加できると仕事帰りに立ち寄りたいたい人が増えるのではないかと思います。
⑧	稲城には自然が豊富で人の関心を引く施設、三沢川の桜、遊園地・総合運動場・里山等が沢山ありますが、バスの本数減少等のより交通手段が乏しく移動が困難となっています。いくら観光を謳っても足の確保が出来ず思うようにいかないのでしょうか。車を自在に操る人だけを対象にしていたのではこれからの観光促進事業は表面的で長続きしないでしょう。又、別視点では、例えばよみうりランドなどとのコラボレーション企画(住民優遇キャンペーン、ふるさと納税による入園券提供等)は市財政の更なる好転や宣伝効果引いては、観光客の集客策になると思います。先ず、市民の愛する、心地よい稲城市でなければ他人は呼ばませんよね。

資料4 「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査

分類番号	回答
⑧	多摩ニュータウン地域に住んでいますが、坂道ばかりで駅から遠いにも関わらずバス便が少なく、さらに昨年春からは減便され暮らすのにとても不便を感じています。稲城には良いところもたくさんありますが、交通の便がこの状態ではなかなか人を呼び込むのは難しいと思います。観光資源の発展を進めていくのであれば、同時に交通インフラの整備（バス便の充実）を真剣に考えていただきたいと思います。新しいジャイアンツタウンも坂の上であり、車以外で訪問したいとはとても思えません。
⑧⑩	バスなどの移動手段が便利だとよい。情報が散らかりすぎてわかりにくいと思いました。気がつくと期間中だったりするので、もう少しネットニュースにでてくるようにしてほしい。
⑨	稲城市=観光と思いつくのが、よみうりランドだけでしたが、ジャイアンツタウンをきっかけにもっと盛り上げていきたいです。観光として思いつくものが少ないのは、静かで暮らしやすい地域であることの裏返しにも思っており、ネガティブには捉えておりません。
⑨	阪神ファンとしては、あまり「ジャイアンツタウン」と声高に騒がないでください。居心地悪いです。静かなベッドタウンが良いです。
⑨	ジャイアンツタウンができ、観光を期待している。
⑨	ジャイアンツタウンスタジアムがオープンしてファンとしては楽しく有難いのですが、まだまだその存在やイベントを知らない方が多過ぎる様に感じます。仕事は接客業なので話す機会が多いのですが…Gタウンスタジアム関連（試合、イベント、送迎バス、階段の設置など）を分からない方が相当数います。その方達の為に私の分かる事はお伝えして、宣伝しています。
⑨	スポーツの街として、ヴェルディやジャイアンツをもっと推して行って欲しい。それに関連したイベントなどももっとやって欲しい。
⑨⑫	事業を否定するようだが、市域が小さい稲城市単体では手広くやるのに限界があると思う。また、住民全てが観光で人を呼び込むことに肯定的ではないとも考える（静かに暮らしたい人も多いと思う）。結論はジャイアンツなど民間と上手く連携してやっていくべき。総花的にやるには職員の負担も重いでしょう。
⑨⑮	よみうりランドやその関連施設があり、さらに読売ジャイアンツや東京ヴェルディ、日テレ・東京ヴェルディベレーザと言った一流スポーツチームが集積しているのは全国を探しても中々ないと思うのもっと強く押し出して欲しい。またジャイアンツタウンができ巨人との繋がりが強くなるのは良いが、東京ヴェルディやベレーザ、さらにはヴェルディクラブ所属のチームでも稲城市内に人が呼べる施設やイベントがもっと増えると良いなと思う。巨人のように東京ヴェルディタウンみたいなものが市内に出来れば理想だが、そこまで行かなくてもグッズショップや練習、育成施設が現状の地図上では完全に川崎市にあるような場所ではなく明確に市内にあり、そこに人が集まるようになれば良いなと思う。そして最近これまでもよりさらに様々なドラマやTV番組、映画などの撮影が行われているが、例えばテレビ朝日のおっさんずラブのように稲城市が明確に聖地になるような作品があれば良いなと思う。アニメや漫画の舞台になってもらっても嬉しいし、それらが過去に実施された甘城ブリリアントパークのようにヴェルディやベレーザ、ジャイアンツなどとコラボするところまで行ければ様々な相乗効果が期待できそう。知名度の割に観光などへのポテンシャルは高い街だと思うので、稲城市を挙げて観光を盛り上げて欲しい。
⑩	まずは認知度を高める施策を手始めに、機会を高めていく。iバスを活用して観光コースを設定する。
⑩	現在でも、色々なイベントがあり面白いなと感じています。稲城市民は、多くの人でにぎわうことを望んでいるのか、今くらいのほどよさが丁度よいのかは分かりませんが、こんな立派な桜並木があり、新宿からも来やすいしもっと稲城市の良さが世間に伝われば良いのになと感じています。

分類番号	回答
⑩	稲城市の成り立ちが、複数の村を一つにして成立したと聞いている中でこれと言う共通の歴史的遺産や産業がないと感じる。良く梨の産地と言われているが梨の生産農家が稲城全体に貢献しているのか疑問です。また、歴史的遺産や観光名所も無い中で観光に力を入れる事が良いのかも疑問です。街並みが綺麗と言っても、若葉台等の新興住宅地の話で昔からある住宅地等は他と変わらない。何をテーマに打ち出すのかをもっと考えたほうが良いと思います。
⑩	数年前に「るるぶ稲城市」(題名は不確かですが…)を手にしたことがあります。通常の冊子ではなく数枚のパンフのようなものだったように記憶していますが…。たくさんの種類の観光パンフがでてますが、盛りだくさんの冊子があっても嬉しいと思います。
⑩	現時点で、稲城市に市外からの観光客を呼び込むほどの観光地があるとは思っていない。ベッドタウンであり、子育て世代も多いことから、市民のための公園整備、公園内のイベントや、キッチンカー乗り入れ等に力を入れても良いのでは。稲城市でも地域により趣がかなり異なるので、同じ市としての一体感も感じない。観光PRできるものがあるのだとすれば、まず市民に対してPRするのが先決と思われる。ショッピングセンターでのちょっとしたイベント、新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキや若葉台駅でのイベントなどで、市民や近隣に実感してもらう。市外遠方の人に、他より特に優れている、と言えるほどのものは少ないと思うので、近隣の人に、いつもと違う味や雰囲気、気分転換に、ちょっと寄る程度の感覚で、今度行ってみようと思わせる感じのPRがよいのではないだろうか。
⑩	観光PRの仕方が消極的に感じる。マスコミ、SMS、若者、著名人、イベントチラシ・ポスター、特産品等を活用して稲城市を大々的に宣伝して頂きたい。
⑩	稲城市の売りがなんなのか、市民に伝わっていない。外向きにいくらアピールしても市民が知らないのではうまくいかないのでは？
⑩	稲城市は自然豊かでとても良いところだと思います。もっと良いところをアピールできて、街自体活性化されることを期待しています。
⑩	市外から来訪すると(観光・移住)具体的に何が期待できて稲城市や稲城住民にどんなメリットがあるのか詳しく知りたい。そうすれば稲城観光をさらに応援するモチベーションになる。また、「観光」と「移住」だとターゲットや訴求方法が違うと思いますが、今回はあくまでも「観光」=一時的な来訪 のつもりで回答しました。実際稲城市としては観光と移住どちらが有難いのかも気になりました。今回の話はあくまで観光課の案件なので観光なのですかね。こういった意見出しはいくらでも協力します。稲城観光の力になりたいです。
⑩	稲城の「観光」と言われても、「売り」があいまいで、違和感を感じていた。組織を整備しても、来訪したくなる動機がないのでは、ペアテラスが寂れるのも当然だと思う。もっとフォトコンなどで地域に眠る魅力の発掘と、知らしめることが必要だと思う。昨年、多摩弾薬庫跡を見学することができた。残されていた建物群や自然環境に驚いた。米軍管理下にあるので難しいとは思いますが、他所にはない魅力なので観光資源として活用できるよう市にも頑張ってもらいたい。
⑩	稲城市と言うと梨とアピール出来たが、今は何もない。電車で周りを見ても宅地ばかり、ここをもっと力を入れるべきではないでしょうか！
⑩	メディアにもっと紹介してもらいたい。他市町村に比べると弱く感じる。
⑩⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・梨の街としてより活性化させたい ・カレーの街としてより活性化させたい ・阿波踊り大会(乙奴連、頑張っています)をより有名にしたい ・オリンピックネタで、よりロードレースの街としてアピールしたい ・米軍多摩レクリエーションとより交流を深めたい (日輪の輪をより広めたい) ・大丸用水や穴沢天神、妙見寺の蛇より行事、高勝寺のカヤの歴史的価値をよりアピールしたい ・ガンダムの街としてより広めたい ・シャイアンツタウンとよりタイアップしたい (次項に続く)

分類番号	回答
⑩⑫	<p>(前項より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲城の昔話を広めたい ・養殖とはいえ、ゲンジボタルの街として、よりアピールしたい ・ヴェルディ、ベレーザをより強くしたい ・コーチャンフォー（文化の街）とよりタイアップしたい ・稲城市民は民度が高いことをアピールしたい ・ロケ地としてよりアピールしたい ・音響のいい、iプラザのイベントホールをより有効活用したい ・iプラザ、中央公民館、城山体験館、フレンド平尾等でのセミナー等をより拡充してほしい ・あぶの農園（みかん）さんとよりタイアップしたい ・大塚牧場さんの河津桜へ、より支援したい <p>以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲城市はまだまだ観光の魅力の宝庫かと思っておりますが、観光課さんの活動に、私も何らかのかたちで参加させていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。
⑪	<p>市民と観光者が安全に楽しく過ごせるために、防災放送で詐欺の電話に追加で不審者情報についてリアルタイムで放送してほしい。犯罪の抑止をしてほしい。</p>
⑪	<p>車を利用して来る人たちのマナーを啓発してほしい。住宅街の細道を「抜け道」として使い速度超過・歩行者無視などの危険運転で暴走する車が多く、子どもが轢かれそうで怖い。近所の梨園の繁忙期には、販売所の周りに路上駐車が十何台も並んで迷惑している。</p>
⑫⑬	<p>観光街づくりの一環として、例えばペアリーロードの商店街を再興させるような仕組み、仕掛けをJRや京王電鉄とのパートナーシップにて推進頂きたい。目的は「人とお金のInbound化」にて①稲城市への流入人口のトレンドを維持・拡大する（地価上昇にも寄与）、②少子高齢化して廃れつつある商店街などをRevivalする（静かな稲城を望む方もいらっしゃるのので、Inboundを積極的に取り込む地区と、このままにしておく地区を分ける）。多摩地区の大学（電気通信大、農工大、中央大、国士館大、帝京大、一橋大、青山学院大）向けの自転車ロードレースなどから始める（合宿所を多摩川沿いに）なども検討出来るかと思えます。</p>
⑬	<p>商店街がない。人と人との触れ合いがない。地産地消を叫ぶがそれを発展し拡大して守っていかうという考えが行政にない。子供が楽しめる街、おとなも楽しめる街にしてほしい。寝るだけの街はいらない。</p>
⑭	<p>豊かな歴史文化が有るのに、地元の人間すら知らない。稲城重成の生死によっては日本史が変わっていたはず。</p>
⑭	<p>実は観光に力を入れていることを知りませんでした（すみません...）。ペアテラスも名前だけは知っていましたが、活動内容などまではわかっていませんでした。一度訪れて地元のことをもっと知りたいと思います。</p>
⑮	<p>ロケ地巡りは盛り上がるイベントになると思います。そのために、誘致により一層力を入れていくことが良いと思います。</p>
⑯	<p>稲城市には優秀な人が大勢居住しているので、市の運営にアドバイザー的なポストを設け市民（納税者）を募ってはいかがでしょうか？</p>
⑯	<p>市内は暮らしやすい街だとは思いますが、ニュータウンで育った30代以下の方等の次世代の担い手を発掘することではなく、既存事業の拡張にのみ焦点を当ててきたのだろうなという印象です。このアンケートに記載し、確かにそうだと認識した所で世代交代にも時間がかかり、やはり難しいかもしれないという気持ちになり、既存事業に任せて勝手に時間が経っていくように思います。</p>
⑯	<p>観光需要は一過性のものであり、長期的な税収上の安定性は見込めない。観光が稲城市の認知度を高めるきっかけになる可能性は否定しないが、そこから企業の立地や住民の転入につながれないと、財政上のメリットは発生し得ない。</p>

分類番号	回答
⑩	突出したエンタープライズのない稲城市の着地点は明らかに観光ではないため、「住みたい街」を一つのステータスにし、近未来的なイメージ戦略にのっかれば良いと思います。プロスポーツクラブとの連携を活かしたスポーティングシティの振興をはじめ、ドローンによるレベル3.5飛行の水平物資輸送を行うなど、必ず訪れる近未来を体現する街になることができるのは、若い街「いなぎ」だと感じます。土地評価額が上がれば連動して税収も跳ね上がりますので市の財政面においてもよろしいのではと思います。観光のマーケットは市外の全人類であると認識しています。よそ者、若者、ばか者の意見こそ取り入れ、スタートアップ世代を取込んだ新技術のチャレンジ提案型の振興を横展開することで街としての魅力を高めることができると考えています。これこそが市役所の目指すゴールへの近道になると感じる方は若い世代には多くいらっしゃるのではないのでしょうか。
⑩	安易に観光に頼るのは考えものです。国の政策でインバウンドに注力していますが、その結果、姉妹都市である長野県の野沢温泉村は外国人に買い漁られてしまいました。同じような事例は二セコなど国内各地で見られます。せっかく小規模な自治体なので、外部に頼るのではなく、市民同士が連携し協力して収入を増やし生活を向上させ、ひいては税の増収、行政の負荷軽減を推進するような施策が望ましいと思います。稲城の「観光」は名ばかりで、アニメやスポーツなどごく一部のマニア向けのニッチな分野に力を入れるという、滑稽な状況になっています。これ以上無駄に観光に力を入れるようでは、せっかくの稲城の魅力が台無しです。ご縁があって稲城に20年以上おり、終の住処にと思っていたのですが、考え直したいと思っていますところでは。
⑩	稲城市内から見える富士山、スカイツリーなどの活用はいかがでしょうか？桜と富士山はよく見ますが梨の花と富士山という組み合わせも良いと思います。
⑩	サラリーマンで外で働いているので、なかなか他人事ですが、応援しています。
⑩	将棋の振興はしないのか？
⑩	観光業者が儲かるだけで市民にメリットは特にはない。そんなことに税金を投入するのはやめて欲しい。
⑩	稲城駅周辺にもっと賑わいがあるといいですね。
⑩	観光と言いながらキャラクターやモニュメントを作っているが、無駄な支出だと思います。そのような事にお金を使うなら、学校の設備や高校生までの医療費無償などにまわして欲しいです。
⑩	越してくる人が増えることで商業施設が充実するとうれしい。
⑩	これから、高齢化社へと進む事となります。年々介護の認定が厳しくなり介護やリハビリ等思うように行っていないと思われます。又認定を受けられたとしてリハビリの効果が出て認定が下がる事でリハビリ等受けられなくなる事で機能が低下して元のもくあみとなります。機能が改善した後も適切なリハビリ等対応出来る施設が出来たらと願わずにはられません。
⑩	平尾四丁目付近が住宅が急増したが、買い物、医療など不便すぎる。
⑩	団地が多い地域故に団地高齢者を巻き込んだ事業を計画立案して欲しい。
⑩	観光まちづくりはどの世代に向けて発信しているのか？どんな人たちに来てもらいたいのか？来てもらおうと稲城市にどんなメリットがあるの？
⑩	この手の業務は際限なく要求されることで無理が生じます。中核を担う周知・案内手段を確立することで、その費用や手間を抑制することが必要であると考えます。位置情報を用いた観光案内アプリについて、複数の近隣自治体と連携して自治調査会に宝くじ振興協会の補助金を申請し、補助を受けつつ導入を図ってみるのはいかがでしょうか。

(出典：「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査)

※誤字等、読みづらい部分は修正しています。

資料5 意見公募（パブリックコメント）

公募概要

公募期間	令和8年2月3日から2月16日まで
対 象	市内在住・在勤・在学の方
公募方法	下記の方法で計画案を縦覧しました。 (1) 市ウェブサイトに掲載 (2) 市役所6階観光課、市役所1階行政情報コーナー、平尾・若葉台出張所、各文化センター、中央図書館、地域振興プラザ、いなぎ発信基地ペアテラスに設置
備 考	ご意見に対する市の回答は、市ウェブサイトで公表しました。

寄せられたご意見

①	「基本方針（1） 地域資源の活用と高付加価値化」について、高齢・障害福祉分野と観光事業を連携することで、市内の高齢者や障害者の活躍の場を創出し、また、市民との交流の機会を提供することができる。その結果、市民の誰もが、高齢者や障害者に対する配慮ができるユニバーサルなおもてなしの街が実現し、他自治体との差別化を図ることもできる。
②	「第4章 基本理念と基本方針」について、第二次計画からより具体性・実効性のある内容に深化し、今後5年間の観光事業に期待したい。観光事業の推進により、単純に人を呼び込むだけでなく、私たち市民への配慮が計画の両輪となっており、ベッドタウンから住んで楽しい街に変化する兆しを感じる。ぜひ、この基本理念と基本方針がぶれないよう、個別の施策を着実に実行していただきたい。

※寄せられたご意見については、一部要約のうえ掲載しています。

資料6 用語解説

用語	ページ	解説
※1 シビックプライド	3	「都市や地域に対する市民の誇り」を意味し、単なる地元愛・郷土愛とは異なり、自分がその地域の一員であるという当事者意識に基づき、地域をより良くしようと主体的に関わり、貢献しようとする思いや意欲を指します。当市が観光事業を推進するにあたって大変重要な視点であり、本計画策定の基礎となっています。
※2 交流人口	3	ある地域に一時的に訪れる人々のことで、訪問目的は観光や買い物、レジャー、文化活動、ビジネス、通学など多様で、その地域に定住せず、一時的に滞在する人々を指します。交流人口は、地域への消費や経済活動を促し、地域経済の活性化に貢献します。
※3 インバウンド需要	6	訪日外国人旅行者が日本国内で商品やサービスに対して行う消費活動全般を指し、宿泊、飲食、買い物、交通機関の利用などが含まれ、日本経済の重要な外需として注目されています。
※4 訪日外客数	6	日本を訪れた外国人旅行者の総数のことで、観光目的だけでなくビジネスや留学目的の入国者も含まれ、入国するたびにカウントされますが、在日外国人や航空機・船舶の乗員は除外されます。
※5 訪日消費額	6	日本を訪れる外国人観光客が日本国内で支出するお金の総額のことで、「インバウンド消費」とも呼ばれ、宿泊費、飲食費、交通費、買い物代（お土産など）、娯楽費などが含まれ、日本の経済を支える重要な指標です。
※6 観光消費額	6	旅行者が観光地で使ったお金の総額のことで、宿泊費、飲食費、交通費、お土産代、娯楽費、などが含まれ、その地域の経済効果を測る重要な指標です。
※7 オーバーツーリズム	6	特定の観光地に許容範囲を超えて観光客が集中し、地域住民の生活やインフラ、自然環境などに悪影響が出ている状態を指し、「観光公害」とも呼ばれます。具体的には交通渋滞、ゴミ問題、騒音、マナー違反などが挙げられます。
※8 ゴールデンルート	6	通常、人気の高い観光スポットをまとめたルートのことですが、特にインバウンド観光においては東京、箱根、富士山、名古屋、京都、大阪などを巡るルートのことを指し、日本を代表する大都市や観光スポットを網羅し、効率の良い旅が可能です。
※9 観光立国	6	国の魅力的な観光資源（自然、歴史文化、食など）を整備・活用し、国内外からの観光客を誘致することで、観光による経済効果を国の経済基盤の一つとし、地域活性化や国際相互理解の促進を目指す国家戦略です。
※10 関係人口	6	居住地域は異なるが、ある地域に愛着や関心を持ち、地域に継続的・多様な形で関わる人々を指し、地域活性化の担い手として期

用語	ページ	解説
(前項より)		待される存在で、「観光以上移住未滿」のつながりを持つ人々のことで、地方創生において重要な役割を担います。
※11 サステナブル・ツーリズム	6	環境・文化・経済の側面から、地域や自然、住民生活に配慮し、現在と未来の世代が恩恵を受けられるようにする観光のあり方です。観光客、事業者、地域社会が一体となり、地域資源の保全・活用、文化の尊重、経済的利益の公平な分配を目指し、消費型から「意味のある体験」を提供する観光への転換を促します。
※12 マスツーリズム	7	第二次世界大戦後の経済発展により、それまで富裕層に限られていた観光旅行が一般大衆にまで広く普及した現象を指し、主にパッケージツアーや団体旅行で有名観光地を効率よく巡るスタイルが特徴です。
※13 コンテンツツーリズム	8	映画、ドラマ、アニメ、小説、ゲーム等、「コンテンツ」の舞台となった場所や関連する地域を訪れる観光行動のことで、アニメの舞台を訪ねる「聖地巡礼」がその代表例です。
※14 インプレッション数	11	ウェブサイトやSNS投稿、検索結果などが、ユーザーの画面に表示された回数を指し、表示されるたびにカウントされる指標です。
※15 ニューツーリズム	15	従来の「見るだけ」、「団体で回る」といったマスツーリズムに代わり、「体験」、「交流」、「テーマ性」を重視し、個人の興味関心に合わせて地域固有の自然・歴史・文化資源を深く学ぶ新しい旅行スタイルです。
※16 観光との新結合	15	既存の観光資源やサービスにデジタル技術や異分野のアイデア、地域資源などを掛け合わせることで、これまでにない新しい価値や体験、ビジネスモデルを創造し、観光産業を革新することを指し、地域経済の活性化や課題解決、持続可能な観光地域づくりを目指します。
※17 高付加価値化	18	単に消費額を増やすだけでなく、地域の歴史文化や自然などを深く体験させ、旅行者自身の知識やインスピレーションを深めることで、価格に見合う特別な価値（満足度）を提供する取り組みのことを指します。
※18 ゾーニング	18	空間やエリアを特定の目的や機能、利用制限に応じて区分け、分類することです。
※19 稲城ロケーションサービス	19	稲城市と稲城市観光協会、デイ・ナイト株式会社（民間の専門会社）の3者で連携し、形成した組織で、公共施設に関するロケーション撮影の各種調整・立ち会い等の総合窓口（ワンストップ・サービス）を有償にて支援しています。
※20 デジタルマーケティング	19	インターネットやスマホ、SNSなどのデジタル技術を活用し、データ分析をして顧客との接点を持ち、商品やサービスの認知、集客、販売促進を行うマーケティング活動全般を指します。

用語	ページ	解説
※21 SDGs	19	「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称で、2030年までに世界全体で貧困・飢餓・環境問題・経済格差など、地球規模の課題を解決し「誰一人取り残さない」持続可能な社会を目指すための国際目標のことで、2015年に国連で採択されました。
※22 JNTO	20	日本政府観光局（Japan National Tourism Organization）の略称で、訪日外国人旅行者の誘致と国際観光の振興を目的とした独立行政法人のことで。
※23 FAMツアー	20	Familiarization Tripの略称で、観光誘致を目的として旅行会社やメディア関係者、インフルエンサーなどを現地に招待し、地域の魅力や商品を体験してもらう「下見招待旅行」や「モニターツアー」のことで、体験した情報をSNSやブログ、雑誌などで発信してもらい、観光誘致や新たな旅行商品の開発につなげます。
※24 アーカイブズ化	20	過去のデータや情報を整理し、必要な時に参照・活用できるように長期的に安全に保存、保管することです。
※25 スポーツホスピタリティ	20	単なるスポーツ観戦だけでなく、特別な食事やエンターテイメント、上質な空間を組み合わせ、観客に付加価値の高い体験を提供する観戦スタイルや商品のことで。
※26 スタートアップ育成	23	新しいビジネスモデルを持つ新規参入企業を支援し、課題解決や持続可能な観光まちづくりを促進する取り組みのことで。
※27 デスティネーション・マーケティング	25	旅行目的地（デスティネーション）となる地域を1つの企業や商品とみなして行うマーケティング活動のことで、観光地域は自ら移動できないこと、多様な利害関係者がいること、自然や文化財など公共財を扱うなどの制約があるため、製造業や観光業など民間企業のマーケティングとは質的に異なるとされています。
※28 RAIDA	25	Regional issue Analysis, Insight, Data-Driven and Digital, Accelerate digitalizationの略称で、データにより地域課題を捉え、分析・考察することをサポートし、施策目標の達成を後押しするプラットフォームです。効果的なデジタル実装施策を支援するために、内閣府地方創生推進室及び内閣官房地域未来戦略本部事務局が提供しています。
※29 スケールメリット	32	事業や生産、販売などの規模を大きくすることによって得られるコスト削減や生産性向上、競争力強化などの有利な効果や利益のことです。
※30 エシカル消費	41	地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことです。

第三次稲城市観光基本計画策定経過

	年月日	会議等	内 容
令和7年	3月1日 ～ 3月31日	「稲城の観光まちづくり」に関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住、在学、在勤の方を対象 ・市ウェブサイト内のフォームにて実施 ・観光スポット、イベント、魅力等の他、市外からの来訪に対する意見の聴取
	8月12日	庁内観光連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・草案に関する意見聴取 ・策定スケジュール
	8月22日	第1回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の位置付け ・草案に関する意見聴取 ・稲城の観光に関する意見交換 ・今後のスケジュール
	11月13日	第2回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回で提示した草案からの追記・修正を踏まえた中間案の概要説明 ・中間案に関する意見聴取 ・今後のスケジュール
令和8年	2月2日	稲城市議会建設環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回策定委員会以降の追記・修正を踏まえた計画案の説明 ・意見聴取
	2月3日 ～ 2月16日	意見公募	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案を市ウェブサイトに掲載するとともに市役所観光課窓口、市役所情報公開コーナー各出張所、各文化センター、中央図書館、地域振興プラザ、いなぎ発信基地ペアテラスに設置し、各施設及び市ウェブサイト内のフォームにて意見を受付
	3月16日	第3回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・稲城市議会建設環境委員会における審議及び意見公募の結果報告 ・上記の結果等を踏まえた計画案の説明 ・計画案の概要版の説明

第三次稲城市観光基本計画策定委員会委員名簿

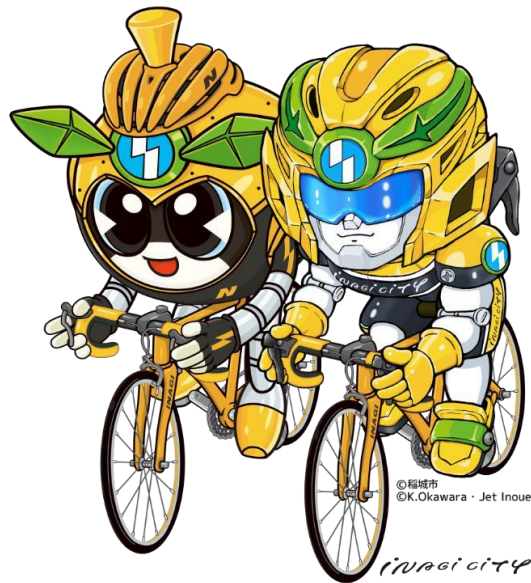
(敬称略)

区分	氏名	組織・役職	選出区分
1	委員長 鮫島 卓	駒沢女子大学 観光文化学部 教授	学識経験者
2	副委員長 徳尾 和彦	(一社)稲城市観光協会 会長	観光業関係者
3	委員 岩村 晃	(株)よみうりランド 経営企画室 室長	
4	委員 早野 洸揮	稲城市商工会 青年部 副部長	農・商・工業、スポーツ関係者
5	委員 精木 亮二	(株)Champion System Japan 代表取締役	
6	委員 加藤 晃生	熊商会(コンサルタント)	公募による市民

稲城市庁内観光連絡会名簿

(敬称略)

区分	氏名	組織・役職
1	委員長 小島 大泰	産業文化スポーツ部 観光課長
2	副委員長 膳 崇訓	企画部 企画政策課長
3	委員 楡金 研太郎	企画部 秘書広報課長
4	委員 佐藤 江美子	産業文化スポーツ部 経済課長
5	委員 吉原 晶子	産業文化スポーツ部 市民協働課長
6	委員 加納 久朗	産業文化スポーツ部 スポーツ推進課長
7	委員 谷口 賢史	都市建設部 まちづくり計画課長
8	委員 城所 敏幸	都市建設部 管理課長
9	委員 土屋 清嗣	都市環境整備部 緑と環境課長
10	委員 吉屋 武	都市環境整備部 区画整理課長
11	委員 小林 伸也	教育部 生涯学習課長



第三次稲城市観光基本計画

発行 令和8年3月 稲城市
編集 稲城市 産業文化スポーツ部 観光課
住所 〒206-8601
東京都稲城市東長沼2111番地
電話 042-378-2111 (代表)

©K.Okawara・Jet Inoue ©サンライズ ©創通・サンライズ
©YOMIURI GIANTS ©TOKYO VERDY